



① 新年度名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
		② 事業事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費					⑨ 成果指標(アウトカム指標)					⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容			
							指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度	
																		R3	R2						R1
観光・MICE推進課	7	ナイトツーリズム推進事業(ハード)	R 4 -	市(直営・委託)	観光客の滞在時間延伸を図るため、夜間景観整備計画に基づき、魅力ある夜間景観の整備を進める。	駿府城公園中堀の一部(銀櫓・東御門橋・東御門・周辺石垣)のライトアップに向け照明整備を実施する。	①工事発注 ②関係課と連携した工事の進行管理 ③適正な工事完了と点灯開始	①実施 ②実施 ③実施	一般	139,000	—	122,286	0.5	0.0	報道等、メディアへの露出獲得件数	10件	—	—	—	66件	S	S	工事完了時にお披露目の点灯式を実施し、TVを中心に地元メディアで7件露出があった。加えて首都圏向けプレスリリースの活用により地方紙(WEB版)やネットニュースでの情報拡散があり、全国的な露出を図ることができた。	静岡市街地の夜の回遊性向上のため、駿府城公園周辺施設の夜間開館や夜間イベント等に合わせたライトアップの活用	
観光・MICE推進課	8	国内都市友好に係る経費	S 51 -	市(直営)	国内姉妹都市・友好都市等との交流促進を図る。	国内姉妹都市・友好都市と相互のイベント出展等を実施する。	交流事業の実施	実施	一般	1,136	—	984	0.1	0.1	イベント出展などの交流件数	3件	2件	0件	3件	2件	C	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったイベントもあるが、室蘭市や上越市など姉妹都市でのイベントに出展し交流を図った。また、静岡産業フェアに佐久市、上越市が来静し、PR及び物販を行い、相互交流が図られるとともに、広報誌による相互プロモーションを実施した。	イベント出展での交流とともに、イベント情報の発信や観光パンフレットの配架など、相互情報発信を行い、交流人口を拡大させるため、姉妹都市交流を引き続き深めていく。	
観光・MICE推進課	9	国内都市友好に係る経費(聖一国師顕彰事業)	H 29 -	市(直営)	聖一国師ゆかりの都市との交流を図るとともに、官民連携で設立する「聖一国師顕彰会」とともに観光交流客数の増加を図る。	聖一国師顕彰会事業の実施。	①事務処理の円滑な実施 ②聖一国師顕彰会の円滑な運営支援	①実施 ②実施	一般	2,000	—	2,000	0.1	0.1	聖一国師ゆかりの都市との交流件数	1件	1件	0件	3件	2件	S	A	聖一国師ゆかりの寺社を公式参拝し、「勢い水」を奉納するとともに、福岡市内にある「WeWork大名」の会員企業との交流イベントに参加し、本市の魅力をPRした。	引き続き官民連携で情報発信を行うとともに、本市の魅力をより効果的に発信できるよう、出展・プロモーション方法の検討を行う。	
観光・MICE推進課	10	滞在型観光推進事業補助金	S 42 -	補助等(交付先)	滞在客誘客促進のため、独自で誘客事業を実施している静岡及び清水ホテル旅館組合に補助金を交付し、更なる事業効果の拡大を図る。	静岡及び清水ホテル旅館組合に補助金を交付する。	①事務処理の円滑な実施 ②滞在型観光推進の円滑な運営支援	①実施 ②実施	一般	314	—	311	0.1	0.0	実施事業数	4件	7件	10件	12件	4件	A	A	令和4年度交付申請時の事業計画に記載の事業件数を目標値とした。 ※R3からR4にかけて各組合において実施事業の見直しが行われ、より効果的な事業に限定して実施する方針に改められた。	実施事業数が目標値に達した。また、実施事業の見直しを行ったことで円滑な事業実施を行うことができた。	組合HP、スマートフォンHPの多言語化を充実することにより、外国人向けの受入れ態勢の拡充を図る。
観光・MICE推進課	11	国民保養温泉地プロモーション事業	H 29 -	市・補助等(直営・交付先)	国民保養温泉地「梅ヶ島温泉郷」の情報幅広く発信するとともに、賑わい創出のためのイベントを支援することで、官民連携で梅ヶ島地区への誘客促進を図る。	①国民保養温泉地協議会総会等の開催 ②梅ヶ島温泉郷ライトアップ事業の支援 ③ワーケーション実証事業の実施	①総会及び記念イベントの実施 ②梅ヶ島温泉郷ライトアップ事業の円滑な運営支援 ③ワーケーション実証事業の実施	①実施 ②実施 ③実施	一般	3,800	—	1,215	0.1	0.0	地域内温泉施設利用者数	55,000人	49,605人	48,435人	64,077人	57,542人	A	A	新型コロナウイルスの影響により延期となっていた国民保養温泉地協議会総会やエクスカッションが実施されるなど、地元開催イベントを徐々に復活させることができた。これに伴い、地域内温泉施設利用者も増えつつあり、目標数値も上回った。	環境省により指定されている国民保養温泉地というブランドを全国に発信し、周知していく必要がある。そのために国民保養温泉地計画に沿って研修会を行い、地元スタッフの温泉・入浴に関する知識の習熟度を高める。また、地域おこし協力隊制度を活用して外部人材を派遣し、地域の情報発信に力を入れていく。	
観光・MICE推進課	15	静岡県中部・志太榛原地域連携DMO	H 27 -	補助等(交付先)	静岡県中部5市2町(静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町)の広域連携のもと、当地域の「観光目的地」としての地理想起率を高め、来訪者数を増加させるとともに、戦略に沿った観光商品の開発を事業者とともに、観光消費や宿泊の拡大を図る。	地域連携DMOであるが企画観光局が主体となり、次の事業を実施する。 ①戦略に基づく商品開発とモニターテスト ②既存資源の情報発信 ③効果測定、市場調査	①負担金交付事務の円滑な実施 ②庁内の連絡調整	①実施 ②実施	一般	59,800	—	59,800	1.0	0.0	①Learn事業体験人数 ②Tea事業(茶の間)体験人数 ③Sea事業参画事業者数	①2,000人 ②360人 ③20店舗	①672人 ②5,275人 ③15店舗	①313人 ②2,393人 ③10店舗	—	①517人 ②114人 ③22店舗	①C ②C ③S	B	調査分析事業は、来訪者調査の実施、するが観光レポートの作成、各種イベント調査の実施などにより、効果的な観光振興事業を展開するためのデータ収集ができたものの、Learn,Tea事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を下回ったため。	調査分析事業により得られた、データを活用したマーケティングに基づき、より効果的な観光施策の展開を図る。また、地域内の情報共有を促し、市町間、事業者間の連携を後押しすることで地域一体となった施策・事業が展開されるよう努める。	

① 新事業名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
		② 事務事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費					⑨ 成果指標(アウトカム指標)					⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容					
							指標名	当年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度			
																		R3	R2						R1	当年度の目標値の算出根拠	
観光・MICE推進課	13	静岡県観光協会等負担金	-	補助等(交付先)	観光振興に関する広域的な団体と連携して事業を推進することにより観光誘客を図る。	観光振興に関する広域的な団体に対し、会費等を負担する。	①事務処理の円滑な実施 ②観光関係団体等の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	6,862	-	6,596	0.1	0.0	各団体の円滑な運営・事業実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施の制約がありながらも各団体の事業が効果的に実施されたため。	県内全域における消費動向調査など、有益な分析などもされており、今後は各自自治体及び団体が、より効果の高い事業を選択できるよう、各団体事務局や関連自治体との連携と情報共有を行う。
観光・MICE推進課	14	観光案内所運営事務	H19 -	補助等(交付先)	観光案内所において観光地や宿泊施設、地域資源等の情報発信を行うことにより都市イメージ向上、観光振興及び地域活性化を図る。	公益財団法人するが企画観光局の静岡駅及び清水駅前の観光案内所運営事業に対し、補助金を交付する。	①事務事業の円滑な実施 ②観光案内所の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	24,082	-	24,082	0.1	0.0	案内人数	60,000人	41,018人	37,362人	118,970人	78,119人	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響も小さくなり、前年度に比べ利用者は倍増した。ただし、コロナ禍前の数字に比べると利用者は少ない。	インターネットにより観光情報を取得する人が増えることにより、観光案内所の利用者は減少する一方で、インバウンドの増加により、外国の利用者は増えていく見込み。時代に即した観光案内所となるべく、現在の利用状況を踏まえあり方を検討し、施設管理者と協議を行う。		
観光・MICE推進課	15	観光宣伝事業補助金	H19 -	補助等(交付先)	地域資源を活かした観光客の誘致を推進し、地域経済の活性化を図る。	公益財団法人するが企画観光局の観光宣伝事業に対し、補助金を交付する。	①事務処理の円滑な実施 ②観光宣伝事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	10,794	-	10,794	0.1	0.0	するが企画観光局ウェブサイト閲覧件数	1,400千PV	1,708千PV	1,813千PV	911千PV	2,461千PV	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響も小さくなったことに加え、大河ドラマ「どうする家康」効果もあり、PV数は過去最高を記録した。	ウェブサイトの掲載内容を充実させるだけでなく、するが企画観光局の持つ調査・分析機能を活かし、観光客目線での情報の整理や、SNS・ウェブ広告などの、ターゲットを絞ったプッシュ型の情報発信にも取り組んでいく。		
観光・MICE推進課	16	するが企画観光局運営費補助金	H19 -	補助等(交付先)	地域資源を活かした観光客の誘致を推進し、地域経済の活性化を図る。	公益財団法人するが企画観光局運営事業に対し、補助金を交付する。	①事務処理の円滑な実施 ②するが企画観光局の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	107,980	-	107,980	0.1	0.0	組織の継続的な成長を担う人材育成事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	A	持続的かつ効果的な財団運営のため、全国公益法人協会や民間団体等が実施する研修会に参加し職員のスキルアップが図られた。	観光シンクタンクとしての機能をより高めていくため、観光専門人材の確保と人材育成が課題であることから引き続き人材育成事業を実施するとともに、経営計画の着実な実行、必要に応じて適宜、見直しを実施する。
観光・MICE推進課	17	静岡県大型観光キャンペーン負担金	H4 -	補助等(交付先)	観光資源を広く国内外に発信し観光イメージの高揚を図るとともに、観光客の誘致拡大と受入体制の整備促進に必要な諸事業を、県、県内自治体、観光協会等と連携して実施することにより、観光振興と地域活性化を図る。	静岡県大型観光キャンペーン推進協議会が実施する観光資源紹介宣伝、各種イベント、観光客誘致事業等に対し、負担金を支出する。	①事務処理の円滑な実施 ②静岡県大型観光キャンペーン推進協議会事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	1,135	-	1,135	0.1	0.0	国内における観光PR・誘致活動への参加	3回	0回	2回	3回	3回	A	A	新型コロナウイルスの感染状況により、現地またはオンライン開催等変更は生じる可能性があるが、各自自治体等が参加できる商談会への参加件数を目標値とした。	東京、大阪、名古屋にて、旅行会社等と各自自治体及び事業者との商談会が、現地開催にて実施された。	限られた時間での効率的・効果的な商談を行うため、資料および情報の蓄積と商談資料の作成が必要。	
観光・MICE推進課	18	中央日本総合観光機構負担金	H18 -	補助等(交付先)	東海、北陸、信州各地域が相互に連携し広域観光の推進を図ることにより、観光客の誘致・交流人口の拡大を図る。	広域観光の推進を図ることを目的に中央日本総合観光機構に対し、会費等を負担する。	①事務処理の円滑な実施 ②当機構の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	1,500	-	1,500	0.1	0.0	当機構の円滑な運営・事業実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、訪客データベースの構築など、今後の誘客促進につながるデータの収集が可能になった。	9県3市の広域的な枠組みの中で、本市の交流人口増加を図れるかが課題。当機構のスケールメリットを生かし、海外への情報発信を主とした、インバウンド増加を図る。また、当機構の事業を積極的に活用し、本市のPR機会を創出する。	
観光・MICE推進課	19	海外プロモーション事業	H21 -	市(直営)	本市の知名度や来静意欲の向上、将来的な交流促進を図り、集客交流都市の実現を目指す。	①韓国・静岡県旅行ブログによる情報の受発信 ②台湾・旅行商品販売促進事業 ③旅行社社招請事業 ④プログラーの招請事業 ⑤台北マラソン交流事業	①事務処理の円滑な実施 ②ブログ等の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②未実施	一般	①2,388 ②2,792	-	2,265	0.7	0.0	①韓国ブログアクセス数 ②台湾旅行商品販売促進事業申請件数	①41,000件 ②1件	①35,853件 ②未実施	①40,665件 ②0件	①166,944件 ②2件	61,093件 ②未実施	S ②-	A	これまで、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ブログアクセス数は減少していたが、富士山静岡空港の韓国便が復活することが決まって以降大幅にアクセス数を伸ばし、当初の目標数を大幅に更新する形となった一方で、台湾便の再開が見通せない中で台湾向けの事業が実施できなかった。	アフターコロナとなった今、多くの外国人観光客が海外旅行を検討する時期に来ているため、選択肢として静岡県への観光を遠んでもらうべく、県や周辺自治体と協力して、プロモーションを実施していく。		

① 所属 部署	② 事務 事業名	③ 期間	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
			④ 事業 の実施 主体	⑤ 事業 目的	⑥ 事業 内容	⑦活動指標(アウトプット指標)			⑧事業費		⑨人工	⑩成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価 理由	⑬ 今後の 課題と 課題解決 に向けた 取組内容						
						指標名	当該年度 の目標値	実績値	合計	予算額 (千円)	前年度 からの 繰越額 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	非正職員 (人)	指標名	当該年度 の目標値				直近3か年の実績値			実績値	達成 度	
																				R3	R2	R1			当該年度の目標値の算出根拠
観光・MICE推進課	富士山静岡空港利用促進協議会負担金	H27 -	補助等(交付先)	県、県内市町、民間事業者との連携により、大規模社会資本である富士山静岡空港の利用促進を図ることで本市の知名度や魅力の向上を図る。	①負担金交付事務 ②運営補助	①事務処理の円滑な実施 ②富士山静岡空港利用促進協議会の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	5,000	—	5,000	0.2	0.0	富士山静岡空港利活用地域連携事業申請件数	5件	1件	1件	12件	新型コロナウイルスの影響により、国際線の回復が難しいことから、コロナ禍前の概ね50%を目標値とした。	6件	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響は引き続きあるものの、当該年度の目標値を超える件数の申請があり、富士山静岡空港の利用促進を図り、本市の知名度や魅力の向上に図ることができたため。	アフターコロナとなり、富士山静岡空港の利用客も増えることが見込まれるため、補助金制度の周知に力を入れ、申請件数を増やしていく。
観光・MICE推進課	地域イベント開催事業補助金	H15 -	補助等(交付先)	地域社会の連帯及び協調を促進し、本市を訪れる観光客の増加を図る。	地域住民が連帯して開催する祭り、レクリエーション等のイベントを開催する者に対して補助金を交付する。	各地域イベントに係る補助金交付事務処理の円滑な実施	実施	実施	一般	100	—	100	0.1	0.1	補助制度活用イベントによる集客数	2,000人	1,521人	1,888人	7,550人	コロナの影響によりイベント開催数が見通せないため、昨年度の目標値を据え置いた。	298人	C	B	令和4年度は「まちは劇場TRY'22事業」にエントリーして、本事業を活用しないイベントが多かったものの、1件のイベントに補助金を交付し、地域社会の連帯及び協調が図られた。	アフターコロナとなったため、これまで多くの観光客が訪れるイベントの実施が控えられていたが、それらイベントの主催者にイベント復活もしくは新たなイベントの企画を行うよう補助金を周知していく。
観光・MICE推進課	駿府浪漫バス運行業務	H12 -	市(委託)	静岡中心市街地のまち歩き観光の促進と観光客の利便性向上のため、巡回バスを運行し、観光客の増加及び観光消費の活性化を図る。	自主運行バスの運行業務を委託し、円滑な運行管理と利用促進事業を行う。	年間を通じた浪漫バスの安定的な運行の実施	実施	実施	一般	17,005	—	17,005	0.4	0.1	1便当たりの利用者数	7.0人	5.9人	5.2人	8.3人	観光客数のある程度の回復を見越し、前年度より1便あたり1人多い7人を目目標値とした。	7.2人	A	A	Withコロナの動きが進むとともに、観光客やバス利用者が増加し、目標値を上回ることができたため。	令和元年度に行ったルート変更により、観光利用よりも生活利用の割合が大きくなっているが、便数やルートなど利便性が課題。利用状況を分析し、今後の運行方法について、運行事業者や関係部署と協議を行っていく。
観光・MICE推進課	全国大会等開催補助金	H12 -	補助等(交付先)	全国的規模の各種大会の誘致を促進し観光客の増加を図る。	全国的規模の大会等を開催する者に対して補助金を交付する。	各大会に係る補助金交付事務処理の円滑な実施	実施	実施	一般	33,554	—	32,315	0.1	0.5	補助対象となった全国大会等における宿泊人数	15,000人	10,183人	2,200人	35,233人	全国大会開催の回復を見越し、前年度5割増しの15,000人を目標とした。	19,498人	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となったが、引き続き市内で開催されるよう主催者に働きかけを行うとともに、新規MICE誘致につながる情報発信を行う。	コロナ禍前に開催されていた大会が、引き続き市内で開催されるよう主催者に働きかけを行うとともに、新規MICE誘致につながる情報発信を行う。
観光・MICE推進課	環駿河湾観光交流活性化協議会負担金	H25 -	補助等(交付先)	貴重な観光資源である清水・土肥航路を活用し、環駿河湾地域を周遊する観光を促進して、同地域における交流人口の拡大及び地域活性化を図る。	環駿河湾観光交流活性化協議会が実施する、環駿河湾地域の周遊観光を促進する事業に対し、負担金を支出する。	①事務処理の円滑な実施 ②環駿河湾地域周遊観光促進事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	3,500	—	3,500	0.8	0.0	駿河湾フェリーの年間輸送人員数	141,000人	80,717人	80,021人	129,756人	(一社)ふじさん駿河湾フェリーの経営改善戦略に示す令和4年度の年間輸送人員の目標値を準用した。	108,128人	B	B	利用客数は目標値を下回ったが、ウェブ広告や山梨県向けメディアを活用したプロモーションなど各種施策を実施することで、前年度の利用者数を30%以上上回ったため。	環駿河湾地域及び駿河湾フェリーの魅力向上が課題。フェリーを利用した観光や周辺市町の観光情報など、情報発信事業により、フェリー利用者及び環駿河湾地域の観光客数の増加を目指す。
観光・MICE推進課	コンベンションシティ推進事業	H19 -	補助等(交付先)	各種会議・大会・展示会・見本市などの開催を本市に誘致することで、国内外からの誘客を図る。	公益財団法人が企画観光局が独立行政法人国際観光振興機構と連携して実施するコンベンション推進事業に対し負担金を支出する。	①事務事業の円滑な実施 ②コンベンション推進事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	8,300	—	8,300	0.1	0.0	コンベンション支援件数	50件	46件	15件	12件	コロナ禍の影響によりコンベンション開催数が見通せないため、昨年度実績並みを目目標値とした。	102件	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのコンベンションが中止となったが、アフターコロナにおけるコンベンション誘致を促すため、オンライン商談会やDMIによる情報提供など、積極的に行ってきたため。	今後は、アフターコロナの時代を迎えることから、コンベンションのリアル実施の需要も増えると思われるため、リアル開催に関する情報提供、誘致活動を実施していくとともに、市内大学の定期的な情報交換により、コンベンションの誘致支援を行う。
観光・MICE推進課	日本平まつり補助金	S60 -	補助等(交付先)	本市の主要な観光資源である日本平をPRし、県内外から多くの誘客を図る。かつ本市の魅力幅広く情報発信することで、まちのイメージ向上と人々の交流や経済の交流を促進する。	主催者である日本平まつり実行委員会に補助金を交付し、毎年7月に日本平まつりを開催する。	①事務の円滑な実施 ②広報活動の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	770	—	770	0.1	0.1	イベント入込客数(主催者発表数)	24,000人	—	—	24,000人	前回開催時と同等の人数を目目標値とした。	18,000人	B	A	イベント入込客数は目標を下回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残る中で3年ぶりのイベントを円滑に実施したため。	開催時には日本平パークウェイに交通規制を実施することで、会場である日本平ホテルまでのアクセスについて主催者と協議し、来場者増加のための手段を検討する。

① 所屬名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		② 事業事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
							指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)		正職員(人)	会計年度雇用員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値				実績値	達成度		
																			R3						R2	R1
観光・MICE推進課	27	駿河湾フェリー運航支援事業	H31 -	補助等(交付先)	駿河湾フェリーの運航を継続させることで、環駿河湾地域を周遊する観光を促し、同地域における交流人口の拡大及び地域活性化を図る。	県及び環駿河湾地域3市3町で構成する(一社)ふじさん駿河湾フェリーの運営費の一部を負担する。	①事務処理の円滑な実施 ②駿河湾フェリーの円滑な運営支援	①実施 ②実施	一般	43,500	—	39,100	0.5	0.0	駿河湾フェリーの年間輸送人員数	141,000人	80,717人	80,021人	129,756人	108,128人	B	B	利用者数は目標値を下回ったが、動力費の追加支援や運賃半額、キャンペーンなど各種施策を実施することで、前年度の利用者数を30%以上上回ったため。	コロナ禍の中での利用者数の低迷や原油価格高騰等により、厳しい経営状況が続くと予想されるため、支援の在り方を再検討するとともに、経営改善計画が確実に実行できるよう支援を行う。		
観光・MICE推進課	28	静岡型体験観光推進事業	H17 -	補助等(委託・交付先)	小中学生等の体験教育旅行に関する企画、誘客、受入を推進し、観光誘客と交流促進を図る。	①教員向けモニターツアーの実施 ②旅行会社に対する教育旅行催行事業補助金の交付	①モニターツアーの実施 ②旅行会社に対する補助金の交付	①実施 ②実施	一般	3,929	10,000	6,058	0.1	0.2	しずおか体験教育旅行会員施設利用者数	95,000人	94,118人	65,552人	47,171人	72,146人	B	B	新型コロナウイルス感染症収束に伴い、教育旅行の先行を首都圏方面に戻す傾向にある中、山梨県、神奈川県、東京都を中心とした近畿圏の水準での来訪が見込まれることから、前年度と同水準を目標値とした。	今後も新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に増えていた教育旅行に関しては、そのほとんどが元の首都圏方面へ戻るため、ターゲットエリア及びプロモーション方法に関して関係各所と検討し、誘致を進める。		
観光・MICE推進課	29	伝統芸能振興事業	H24 -	補助等(交付先)	伝統芸能振興会に芸妓芸能振興事業補助金を交付し、芸妓文化の振興を図る。	①補助金交付事務 ②運営補助	①事務処理の円滑な実施 ②伝統芸能振興事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	一般	6,000	—	6,000	0.1	0.2	利用者数(出演助成事業)	3,500人	1,351人	1,190人	12,219人	4,933人	S	A	新型コロナウィルスの影響を考慮し、補助金の交付要件を緩和したことにより、多くの団体に芸妓芸能の利用をしていただいた。	アフターコロナにおいても、引き続き芸妓芸能の利用促進を図り、多くの団体に芸妓芸能を利用してもらえるよう、制度の見直しを行うとともに、新人芸妓の新規採用・育成について支援を行う。		
観光・MICE推進課	30	MICE誘致の推進	H27 -	市(直営)	国際会議等を本市に誘致し、開催することで、本市の国際的なプレゼンスの向上を図るとともに、交流人口拡大を目指す。	①商談会への参加 ②市内視察の提案・受入	①商談会への参加回数 ②国際会議等に関する情報収集	①1回 ②実施	①1回 ②実施	一般	530	—	0	1.0	0.2	MICE誘致に係る視察受入・商談件数	5件	—	—	—	8件	S	A	従前開催件数を目標値としていたが、新型コロナウイルスの影響によるところが大きいため、R4年度については、MICE誘致に係る視察受入等件数を指標とする。	多くの商談会へ参加するとともに、商談後のフォローや視察の受入によるMICE主催者との信頼関係構築により、MICE誘致件数の増加を図る。	
観光・MICE推進課	31	東海道歴史街道まち歩き推進事業	H28 -	補助等(市・交付先)	東海道歴史街道で育まれ根付いてきた地域資源を活用した、本市ならではの街道観光の確立により、観光誘客を促進し、地域経済の活性化を図る。	街道の周遊を推進するとともに、街道の魅力を広く発信する。	①周遊促進事業の実施 ②駿河 東海道おんぱくプログラムの実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	11,500	—	11,214	0.8	0.1	①周遊促進ツール(ハンカチ)販売枚数 ②駿河 東海道おんぱくプログラム数 ③しずおか東海道まちあるきホームページのアクセス数	①820枚 ②46PG ③185,10アクセス	①779枚 ②44PG ③136,000アクセス	①419枚 ②— ③27,491アクセス	①345枚 ②44PG ③27,491アクセス	①790枚 ②48PG ③230,100アクセス	①A ②A ③S	A	①大河ドラマ館や歴史博物館の開設を契機としたPRにより、久能山東照宮や駿府楽市等での販売枚数が増加し、前年度販売枚を上回った。 ②参加事業者への造成支援を随時実施することで、目標値を上回った。 ③大河ドラマ館HPとリンクした発信を行うことで、目標値を大きく上回った。	①販売枚数の増に向け、大河ドラマ館、歴史博物館での情報発信を強化するほか、市内イベントと連携したプロモーションを実施する。 ②持続可能な体制の構築に向け、事業者との意見交換会を実施し、事業者同士の連携強化を図る。 ③大河ドラマ館HPでの発信に加え、より多くの者の閲覧を促すため、SNSを活用した情報発信に取り組み。	
観光・MICE推進課	32	駿州の旅日本遺産推進事業	R2 -	補助等(交付先)	地域の歴史、文化及び景観等の資源を活用した地域間交流と街道観光の推進に関する事業を通じて、交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を図る。	駿州の旅日本遺産推進協議会に対し負担金を支出するとともに、成果を高めるため、本市事業との連携を図る。	①ガイド養成、シンポジウム開催、観光商品開発等の実施 ②市広報媒体等を活用したプロモーション	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	5,350	—	5,350	0.9	0.0	駿州の旅日本遺産を認知している市民の割合	43.25%	41.00%	—	—	41.0%	A	A	目標値には至らなかったものの、観光ボランティアガイドの養成講座(5回)やシンポジウムの開催(1回)、観光コンテンツの開発(24品)等の取組を関係団体と連携して実施した。	駿州の旅日本遺産の認知度を高める情報発信に取り組みほか、ボランティアガイド団体や商品開発に取り組み事業者等とも連携した取組を実施していく。	
観光・MICE推進課	33	お堀の水辺(葉舟)活用事業	H31 -	補助等(市・交付先)	駿府城公園周辺エリアにおける観光コンテンツのひとつとして、「城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進」を図る。	運営事業者が行う周知啓発を支援し、葉舟の安定的な運航を図る。	①補助金支出 ②周知啓発の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	21,975	—	21,084	0.8	0.0	乗船客数	8,000人	5,335人	—	—	8,203人	A	A	コロナ前の運航体制(①定員8人、②12カ月運航)に戻し、さらに、3艘体制とすることで、公園内での大規模イベントや歴史博物館や大河ドラマ館の開催に伴う集客増に対応することができた。また、歴史博物館や大河ドラマ館の開設に合わせたPRにより、開設後の2月～3月の乗船率は、年間乗船率の61%を大きく上回る83%を確保することができた。	通常運航以外のサービス・コンテンツの充実を運航事業者と協議して実施していくことで、より多くの乗船者を確保し、駿府城公園の観光コンテンツとしての定着を図る。	

① 新年度 事業名	② 事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
		③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費			⑨ 人工		⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容					
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度			
																	R3	R2						R1	当該年度の目標値の算出根拠	
観光・MICE推進課	34	食文化・自然等を活用した街道観光プロモーション事業	R 3 -	市(委託)	東海道の起点である日本橋において、しずおか中部連携中枢都市圏(5市2町)の特産品や自然・文化をPRし、街道観光の推進を図る。	日本橋しずおか食堂及び関連プロモーションを実施する。	日本橋しずおか食堂の開催	実施	実施	一般	5,000	—	4,950	0.8	0.1	日本橋地域におけるプロモーション拠点数	10店舗	18店舗	—	—	前年度と比べて事業規模は縮小(前年度予算額の2分の1)しているが、効果的に事業を実施することで、目標値には昨年実績値の2分の1を超える値を設定した。	18店舗	S	A	前年開催時に築いた日本橋関係者との良好な関係性を活かし、日本橋料理飲食業組合等との調整に取り組んだ結果、前年同数の拠点数を確保することができた。	各店舗での料理提供時、各市町の情報や地域食材が食べられる飲食店情報等を発信することで圏域への誘客を図る。
観光・MICE推進課	35	東海道2峠6宿街道事業	-	補助等(交付先)	東海道2峠6宿の魅力発信し、街道観光を確立する。	静岡二峠六宿街道観光協議会へ負担金を支出し、街道観光を推進する。	二峠六宿街道観光協議会の円滑な運営支援	実施	実施	一般	600	—	600	0.1	0.1	歴史や文化を身近に感じることができると感じる市民の割合	65.30%	63.30%	61.80%	64.10%	前年度の増加率(1.5%増)を踏まえ、前年度実績の2%増を目標値に設定した。	61.8%	A	A	東海道まち歩きルートマップの作成やウォーキングイベントの開催により、歴史や文化を身近に感じる市民意識を醸成した。	街道観光の推進に向け、引き続き当協議会と情報共有しながら取り組んでいく。
観光・MICE推進課	36	東海道歴史街道まち歩き推進事業(情報発信)	-	補助等(交付先)	蒲原宿を訪れる観光客に対し、国登録有形文化財である志田邸及び街道文化等を発信し、東海道歴史街道への興味関心を高め、街道観光の推進を図る。	蒲原宿及び静岡市の観光情報の発信及び案内業務を実施する。	蒲原宿(志田邸)における情報発信	実施	実施	一般	1,351	—	1,332	0.1	0.2	来館者数	1,300人	821人	1,286人	2,784人	過去2年の一日当たりの平均来館者数の20%増を目標値に設定した。	1,044人	B	B	目標値には至らなかったものの、前年度比25%増の来館者数を確保することができた。	東海道歴史街道まち歩き推進事業や駿州の旅日本遺産推進事業と連携し、蒲原宿の情報発信の拠点としてPRしていくことで、同館への誘客を支援していく。
観光・MICE推進課	37	蒲原宿場まつり補助金	H 18 -	補助等(交付先)	蒲原地区の旧東海道としての歴史文化及び産業を紹介することにより、地域の魅力を発信するとともに、本市を訪れる観光客の増加を図る。	主催者である実行委員会へ補助金を交付し、蒲原宿場まつり&産業フェア開催事業(準備を含む)を実施する。	① 事務処理の円滑な実施 ② 蒲原宿場まつり開催事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	6,635	—	6,426	0.1	0.1	来場者数	22,500人	—	—	45,000人	コロナにより過去2年開催できていないことを考慮し、令和元年度の来場者数の2分の1を目標値に設定した。	20,000人	B	A	新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値には至らなかったものの、感染症対策を講じて、3年ぶりに開催することができ、一定数の来場者数を確保することができたため、1次評価はAとした。	コロナ前の来場者数を目指し、効果的な広報活動を行えるよう主催者を支援していく。
観光・MICE推進課	38	かんばら御殿山さくらまつり補助金	H 19 -	補助等(交付先)	蒲原御殿山のさくらを紹介することにより、広く市内外に向けて地域の魅力を発信するとともに、本市を訪れる観光客の増加を図る。	主催者である実行委員会へ補助金を交付し、かんばら御殿山さくらまつり開催事業(準備を含む)を実施する。	① 事務処理の円滑な実施 ② かんばら御殿山さくらまつり開催事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	開催中止	一般	0	—	0	0.1	0.1	来場者数	13,000人	—	—	26,000人	コロナにより過去2年開催できていないことを考慮し、令和元年度の来場者数の2分の1を目標値に設定した。	開催中止	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、評価せず。	コロナ前の来場者数を目指し、効果的な広報活動を行えるよう主催者を支援していく。
観光・MICE推進課	39	由比街道まつり補助金	H 21 -	補助等(交付先)	由比地区の旧東海道としての歴史文化及び産業を紹介することにより、地域の魅力を発信するとともに、本市を訪れる観光客の増加を図る。	主催者である実行委員会へ補助金を交付し、由比街道まつり開催事業(準備を含む)を実施する。	① 事務処理の円滑な実施 ② 由比街道まつり開催事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	1,310	—	1,310	0.1	0.1	来場者数	15,000人	—	—	30,000人	コロナにより過去2年開催できていないことを考慮し、令和元年度の来場者数の2分の1を目標値に設定した。	2,250人	C	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には至らなかったものの、感染症対策を講じて、3年ぶりに開催することができたため、1次評価はBとした。	コロナ前の来場者数を目指し、効果的な広報活動を行えるよう主催者を支援していく。
観光・MICE推進課	40	かんばらまつり開催事業補助金	H 19 -	補助等(交付先)	蒲原地区の住民と市民の交流を促進し、及び本市を訪れる観光客の増加を図る。	主催者である実行委員会へ補助金を交付し、かんばらまつり開催事業(準備を含む)を実施する。	① 事務処理の円滑な実施 ② かんばらまつり開催事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	2,396	—	2,396	0.1	0.1	来場者数	3,500人	—	—	7,000人	コロナにより過去2年開催できていないことを考慮し、令和元年度の来場者数の2分の1を目標値に設定した。	4,000人	S	A	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、3年ぶりに開催することができ、一定数の来場者数を確保することができた。	コロナ前の来場者数を目指し、効果的な広報活動を行えるよう主催者を支援していく。
観光・MICE推進課	41	丸子宿場まつり開催事業補助金	H 24 -	補助等(交付先)	丸子地区の旧東海道としての歴史文化及び産業を紹介することにより、地域の魅力を発信するとともに、本市を訪れる観光客の増加を図る。	主催者である協議会へ補助金を交付し、丸子宿場まつり開催事業(準備を含む)を実施する。	① 事務処理の円滑な実施 ② 丸子宿場まつり開催事業の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	485	—	485	0.1	0.1	来場者数	2,500人	—	—	5,000人	コロナにより過去2年開催できていないことを考慮し、令和元年度の来場者数の2分の1を目標値に設定した。	10,000人	S	A	新型コロナウイルス感染症対策を講じて、3年ぶりに開催することができ、一定数の来場者数を確保することができた。	今年度の集客数を維持できるよう、主催者の広報活動を支援していく。

①新年度 No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
	②事業事業名	③期間	④事業の実施主体	⑤事業目的	⑥事業内容	⑦活動指標(アウトプット指標)			⑧事業費				⑨成果指標(アウトカム指標)						⑩評価	⑪評価理由	⑫今後の課題と課題解決に向けた取組内容			
						指標名	当年度 の目標値	実績値	合計	予算額 (千円)	前年度 からの 繰越額 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	会計 外職員 (人)	指標名	当年度 の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成 率	
42	東海道広重美術館管理運営事業	H25 -	市(委託)	東海道五十三次を代表作とする歌川広重の浮世絵を所蔵し、市民・観光客に広く閲覧することで、文化の振興と、街道観光に寄与する。	施設の維持管理を行うとともに、指定管理者による事業運営により、事業目的の効果的な実現を図る。また、由比本陣施設指定管理者とともに連携による集客管理運営を行う。	①指定管理事務の実施 ②連絡会議の開催 ③六宿観光ガイドの発行	①実施 ②年6回以上 ③年4回以上	①実施 ②12回 ③5回	一般	39,031	—	39,000	0.4	0.1			①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①20,000人 ②80.0%	①13,484人 ②84.2%	①10,607人 ②83.7%	①19,955人 ②73.2%			①16,766人 ②86.4%
43	観光施設維持管理事業	-	市(直営)	設置目的・特性ごとに観光施設を保全し、利用者への満足度向上を図る。	施設の維持管理を行い、施設の特性を活かした運営を実現する。	①保守管理等委託業務の実施 ②必要に応じた修繕の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	22,372	—	19,480	0.5	0.1	施設瑕疵による事故発生件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	A	適切な施設の維持管理を行った結果、施設瑕疵による事故は発生しなかった。	施設瑕疵による事故が発生しないよう、適切な施設の維持管理を行うとともに、不具合が発生した際の早期対応に努める。
44	海水浴場維持管理事業	-	市(直営)	海水浴場等の開設に伴い、海水浴客の安全を図る。	海水浴場の安心安全な運営に係る維持管理、業務委託を実施する。	①事務の実施 ②事故の抑制及び緊急時の適切な処置(7月～8月)	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	15,750	—	14,669	0.4	0.2	施設瑕疵による事故発生件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	A	適切な安全対策及び管理を行い、運営上の瑕疵による事故は起きなかった。	引き続き適切な安全対策及び管理を行い、事故防止に取り組むとともに、周辺エリアの活性化・開発にかかわる企業・団体・行政機関と連携・情報共有し、集客増に取り組んでいく。
45	日本平山頂部周辺美化推進事業	-	市(直営)	日本平山頂部の美観維持による観光客の満足度向上を図る。	日本平山頂部の県有地における花壇の植え替えを行う。	①植栽計画の検討 ②花の植苗	①実施 ②12回以上	①実施 ②12回	一般	900	—	893	0.1	0.0	花苗の植栽による美観の維持	実施	実施	実施	実施	実施	A	当初の予定通り実施し、季節に応じた花苗の植栽を通じて日本平山頂部の美観を維持した。	日本平山頂部の美観の維持に向けて、引き続き運営協議会と情報共有しながら取り組んでいく。	
46	三保真崎広場管理運営事業	H16 -	市(直営)	市民の健全な余暇の利用に供するとともに、グラウンドゴルフの競技会その他の催事を通じて誘客を促進することにより地域の活性化及び観光の振興を図る。	三保真崎グラウンドゴルフ場の維持管理及び運営	①維持管理業務の実施 ②市内外の観光拠点・旅館組合等へのPRの実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	4,849	—	4,672	0.4	0.3	来場者数	13,896人	13,699人	13,357人	14,633人	12,022人	B	社会がウィズコロナ、アフターコロナに移行しつつある中で新規客層を取り込むことができず、目標来場者数を下回った。	市内在住・リポーターが多い傾向にあり、本施設は観光施設という位置付けであるため、市内はもとより、市外、県外からの誘客に向けて、施設の魅力を発信し認知度向上に取り組む必要がある。	
47	清水港船宿記念館管理運営事業	H13 -	市(委託)	次郎長翁の功績と清水地区の歴史、文化を紹介すること、清水港エリアのまち歩き観光の拠点として活用する。	施設の維持管理を行うとともに、指定管理者による事業運営により、事業目的の効果的な実現を図る。	①指定管理事務の実施 ②連絡会議の開催 ③六宿観光ガイドの発行	①実施 ②年4回以上 ③年4回以上	①実施 ②4回 ③3回	一般	8,524	—	8,200	0.4	0.0	①施設来館者数 ②来場者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①15,000人 ②80.0%	①4,330人 ②84.2%	①4,783人 ②83.7%	①15,498人 ②73.2%	①7,350人 ②92.4%	①C ②S	①来館者数の目標を下回ったものの、ウォーキングイベント等の再開、地域の小中学校の利用増、一部客船の寄港再開の効果もあり、来館者は前年度比約70%増の来館者数となった。 ②展示内容やスタッフ対応等、来場者から高い満足度を得られた。	来館者数は新型コロナウイルス感染症の流行前の水準まで戻っていない。アンケート結果からはリポーターが少ない現状が見られるため、また来たいと思える展示内容の工夫に加え、インバウンド対応や施設の認知度向上や魅力発信など、来館者の増加に向けて幅広く取り組む必要がある。	
48	観光案内サイン整備事業	H30 -	市(直営)	観光の拠点である、駅やバス停等を起点として、周辺の観光施設等を周遊できるよう観光案内サイン(観光看板、矢羽根、路面シート等)を整備し、インバウンド対策やまち歩き観光に寄与する。	①観光案内サインの設置状況の調査 ②観光案内サインの整備	①現状調査 ②修繕工事	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	1,650	—	1,650	0.8	0.1	調査および整備地区数	2地区	2地区	2地区	2地区	調査1地区 整備1地区	A	整備計画に準拠した観光案内サインの設置状況調査及び整備地区の実績値を目標とした。	整備計画に基づき、丸子・宇津ノ谷エリアのサイン整備を実施した。また、令和5年度のサイン整備に向けて、日本平・久能エリアの調査を予定通り実施した。	観光案内サインの整備に当たっては、日本遺産(東海道まち歩き)、夜景、歴史文化、清水港みなと色彩計画など、他の事業や計画との連携を意識して、当該エリアの周遊につなげるという視点で取り組む必要がある。

①新年度 事業名	②事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		③期間	④事業の実施主体	⑤事業目的	⑥事業内容	⑦活動指標(アウトプット指標)			⑧事業費		⑨人工	⑩成果指標(アウトカム指標)						⑪評価	⑫今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)		前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値			直近3か年の実績値			実績値	達成度	
																				R3	R2	R1			当該年度の目標値の算出根拠
観光・MICE推進課	49	御殿山等維持管理事業	市(直営)	御殿山等由比・蒲原地区観光施設の適切な管理による観光振興を図る。	御殿山等由比・蒲原地区の観光施設の維持管理(蒲原支所と連携)	①維持管理業務の実施 ②必要に応じた修繕	①実施 ②実施 ③実施	一般	7,719	—	7,058	0.4	0.0	施設の瑕疵による事故発生件数	0件	0件	0件	0件	適切な施設管理を実施し、管理不十分による事故発生を防ぐことを目的とした。	0件	A	A	適切な施設の維持管理を行った結果、施設瑕疵による事故は発生しなかった。	施設瑕疵による事故が発生しないよう、蒲原支所と地元自治会との連携のもと、適切な施設の維持管理を行うとともに、不具合が発生した際の早期対応に努める。	
観光・MICE推進課	50	興津坐漁荘記念館管理運営事業	H16 - 市(委託)	興津地区及び周辺地域を結びつけ、観光コースの拠点として地域の活性化と観光振興を図る。	施設の維持管理運営及び観光情報を発信し集客対策を行う。	①事務の実施 ②六宿観光ガイドの発行	①実施 ②年4回以上 ③4回	一般	8,664	—	8,514	0.4	0.0	①施設来館者数 ②来館者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①6,734人 ②80.0%	①5,463人 ②89.6%	①4,979人 ②-	①9,761人 ②-	①今後来場者数の復調が期待できることから、直近3年の平均値を目標値とした。 ②当課所管の指定管理施設の業務仕様書に設定している来館者アンケート満足度と同じ数値を指標として設定した。	①7,386人 ②99.9%	①S ②S	A	①コロナ禍からの回復傾向にある中で、企画展示や情報発信の効果もあり、来館者数は目標を約10%上回った。 ②展示内容やスタッフ対応について、高い満足度が得られた。	来館者数は新型コロナウイルス感染症の流行前の水準まで戻ってはいないものの、回復途上にある中で、企画展示や情報発信の活用したプロモーション、清見寺等周辺施設と連携した周遊促進、地元の子どもたちを中心とした教育普及を通じ、東海道の興津宿の観光拠点としての魅力発信に取り組んでいく。	
観光・MICE推進課	51	駿府城跡観光バス駐車場管理運営事業	H20 - 市(委託)	中心市街地等へのバスによる来訪者への利便性向上を図る。	駐車場の維持管理運営を行う。	事務の適正な実施	実施	実施	一般	9,517	—	6,320	0.2	0.2	①昼間駐車場利用台数 ②夜間駐車場利用台数	①2,459台 ②428台	①1,764台 ②135台	①1,480台 ②65台	①2,459台 ②428台	過去2年度は、歴史博物館建設に伴う駐車区画の減少及び新型コロナウイルス感染症による需要減の影響があったが、令和4年度中の駐車区画の正常化及び観光需要の回復が見込まれるため、令和元年度の実績値を目標値として設定した。	①2,775人 ②269人	①S ②C	A	7月からの駐車区画の正常化や歴史博物館及び大河ドラマ館のオープンによる観光需要の増加もあり、昼間利用の目標値は達成したが、夜間利用については目標値に届かなかった。	駐車場利用者の属性分析に基づき、利用促進に向けた営業活動に取り組む。
観光・MICE推進課	52	由比本陣記念館等管理運営事業	H6 - 市(委託)	由比地区の地域振興及び観光交流拠点として、情報発信や文化交流の促進を図る。	施設の維持管理を行うとともに、指定管理者による事業運営により、事業目的の効果的な実現を図る。また、広重美術館指定管理者とともに連携による集客・管理運営を行う。	①指定管理事務の実施 ②連絡会議の開催 ③六宿観光ガイドの発行	①実施 ②年6回以上 ③年4回以上	一般	19,717	—	18,555	0.4	0.1	①施設来館者数(交流館・御幸亭計) ②来館者アンケートの満足度(5段階評価で4以上の割合)	①45,730人 ②80.0%	①24,583人 ②84.2%	①20,423人 ②83.7%	①38,437人 ②73.2%	①指定管理者が事業計画で設定している当該年度での目標値を指標として設定した。 ②指定管理業務仕様書に設定している来館者アンケート満足度の目標値を指標として設定した。	①30,002人 ②78.0%	①C ②B ③A	B	①コロナ禍や極えびの不漁前の実績に基づき目標設定が元々高かったこともあり、来館者数目標は下回ったものの、前年度比約22%増の来館者数となった。 ②展示内容の満足度は高かったものの、スタッフ対応の満足度が目標をわずかに下回った。	来館者数の更なる回復に向けて、由比地区の地域振興及び観光交流の拠点として、歴史文化や東海道まち歩きを意識した事業実施、広報宣伝の創意工夫するともに、東海道広重美術館と連携した誘客に努める。	
観光・MICE推進課	53	地域観光施設整備事業補助金	市(直営)	地域における観光施設整備を促進し、観光と地域の振興を図る。	地域振興団体が設置する観光施設整備事業経費の一部補助を行う。	①交付件数 ②報告書確認件数 ③検収・確定件数	①1件 ②1件 ③1件	一般	2,000	—	2,000	0.1	0.0	利用団体数	1団体	1団体	0団体	1団体	補助金の目的及び過去の実績を踏まえて目標値を設定した。	1団体	A	A	市ウェブサイトへの補助金制度情報の掲載や、区役所を通じた情報提供に取り組み、最終的に補助金交付に至る実績が得られた。	本補助金の有効活用が図られるべく引き続き広報に取り組みとともに、申請に至るまでの事前相談から丁寧な支援を行う。	
観光・MICE推進課	54	観光案内板等多言語化整備事業	市(直営)	外国人誘客を推進し、受入態勢の整備による来訪者の満足度向上を図る。	観光案内板を多言語表示対応に板面変更、または更新を行う。	看板整備件数	3件	2件	一般	409	—	408	0.2	0.0	実施エリア数	1地区	1地区	2地区	2地区	外国人旅行者の受け入れ態勢の充実を図るため、整備計画に準拠した実施エリア数を目標とした。	1地区	A	A	予定どおり興津エリアにおいて、看板2件の多言語改修を完了した。	観光案内板の多言語化整備に当たっては、周遊促進や魅力発信を意識して行うとともに、整備計画を実勢に合わせて適宜変更していく必要がある。
観光・MICE推進課	55	観光トイレフレッシュ事業	R4 - R4 市(直営)	老朽化が著しい観光トイレの改修を行い、観光客をおもてなしする基盤を整備する。	観光トイレの改修工事を実施する。	用宗観光トイレの改修工事の実施	実施	実施	一般	15,400	—	13,937	0.1	0.0	適正な工事の完了	完了	—	—	令和4年度に実施完了を予定している事業であるため、予定通り年度内に工事を完成させる必要がある。	完了	A	A	予定通り工事を完了し、年度内に供用を開始した。	市内観光トイレの状況を把握しながら優先度を判定し、改修未了のトイレの計画的なリニューアルを進めていく。	
観光・MICE推進課	56	観光施設リニューアル事業	R4 - R4 市(直営)	観光客が安心して来館できるよう環境整備を行うとともに、来訪者の満足度向上を図る。	観光施設の適切な維持管理のため改修工事を実施する。	①坐漁荘記念館の改修工事設計の実施 ②清水港船宿記念館の改修工事設計の実施	①実施 ②実施	一般	3,300	—	2,565	0.4	0.0	適正な工事設計の完成	完成	—	—	—	令和5年度に計画している工事を実施するには令和4年度内に工事設計を完成させる必要がある。	完成	A	A	予定通り設計を完了した。	設計が完了した施設の改修工事を令和5年度に実施するとともに、改修未了の施設・設備の状況を把握しながら観光施設の計画的なリニューアルを進めていく。	



① 新事業名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		② 事業名称	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容					
							指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの継続額(千円)	決算額(千円)		正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値			実績値	達成度	評価理由		
																			R3						R2	R1
観光・MICE推進課	57	久能山下周辺整備事業	R 4 ~R 4	市(直営)	久能山東照宮の玄関口である当該地域の観光客受入環境整備を実施することにより観光客の回遊性向上や団体旅行の需要に対応する。	①観光施設(観光トイレ・観光バス駐車場)の建設・整備工事を実施する。	①観光トイレ整備工事の実施 ②観光バス駐車場整備工事の実施	①実施 ②実施	②未完了	一般	100,350	—	77,024	0.5	0.0	適切な工事の完了	完成	—	—	—	観光トイレ：完成 観光バス駐車場：翌年度に繰越	A	A	観光トイレは予定通り3月に工事を完了し供用を開始した。 観光バス駐車場は大雨災害等の影響で施工業者が人工の確保に調整を要したこともあり、完成時期は令和5年度に繰越となった。 工事が未了の観光バス駐車場については、施工業者の事情もあやむなく繰越となったが、令和5年度早期の完成に向けて業者や関係課と調整しながら工事を進める。		
国際交流課	58	国際化推進事業	S 34 -	市(直営)	本市の姉妹都市・友好都市、その他海外都市等との国際交流を行い、市民の国際理解を促進するとともに、市の国際化を推進する。	①姉妹都市親善使節団受入(オマハ) ②第7回日仏自治体交流会議参加、第8回会議の本市開催の決定 ③公式訪問受入に係る調整 ④国際交流員の配置	①調整1件(コロナ禍のため受入) ②11件(本市開催決定) ③15件 ④1件	①1件 ②1件 ③10件 ④1件	一般	14,775	—	10,160	1.0	1.0	公式訪問者受入人数(本課対応分)	64人	108人	6人	64人	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける前の令和元年度の実績値を目標値とした。	92人	S	S	①これまでの誘致活動が実り、第8回日仏自治体交流会議の本市開催が決定した。 ②公式訪問者受入については、海外渡航制限の影響で、姉妹都市からの使節団・青少年団による来静は中止となったが、感染症対策を実施しながら公式訪問を着実に受け入れ、目標値を達成した。 ①日本側推進委員会(6月)、日仏合同推進委員会(秋)を活用しながら、令和6年度の第8回日仏自治体交流会議の準備を行う。 ②着実に公式訪問を受け入れ、海外来訪者や在日公館等との交流を深めている。		
国際交流課	59	訪日教育旅行誘致促進事業	H 29 -	市・補助等(直営・交付先)	訪日教育旅行の誘致を促進し、将来的な交流人口・関係人口の増加を図る。	海外現地商談会での誘致活動や訪日教育旅行促進にかかる補助、各種交流の実施	①現地プロモーション参加に向けた調整 ②補助金交付件数	①1件 ②1件	①1件 ②2件	一般	536	—	242	0.8	0.2	訪日教育旅行受入学校数	12校	—	—	35校	新型コロナウイルスの影響(渡航制限)によって今年度上半期は受入の見込みはないが、下半期は受入再開を想定し、平成28~令和元年度実績の平均値(25件)の1/2を指標として設定した。	9(オンライン交流含む)	B	B	年度の前半は、渡航制限の影響を受けながらも、オンライン交流を希望する海外教育機関と市内学校をつなぐことで、オンライン学校交流を6件を実施。令和4年11月以降に渡航制限が緩和されてからは、積極的に市内学校に呼びかけを行い、対面による学校交流3件を実施することができた。 令和5年5月、新型コロナウイルス感染症による渡航制限が全面解除されたことから、訪日教育旅行や学校交流に関する外部からの問合せが増えている。関係機関と連携し、着実に受入を進める。	
国際交流課	60	静岡市国際交流協会補助金	H 1 -	補助等(交付先)	市の国際化及び多文化共生の推進に資する事業を行う(一財)静岡市国際交流協会に対して、補助金を交付する。	補助金交付事務	補助金交付	①1件	①1件	一般	48,207	—	42,906	1.0	0.0	静岡市国際交流協会の各実施事業満足度の平均値	90%	96%	94%	90%	R4まで：同協会が策定した「経営計画」のアンケート調査結果目標値を指標とした。	92%	A	A	コロナ禍においても、三密を回避する等感染対策を行った上で英語講座や文化庁補助事業の日本語教室を継続し、目標を超える満足度を得ることができた。 第2期経営計画(令和5~12年度)を着実に推進できるよう支援することで、協会の事業の質や自主財源率を向上させる。	
国際交流課	61	多文化共生推進計画の策定	R 4 -	市(直営)	多文化共生のまち推進条例のもとに令和12年度までの多文化共生推進計画を策定する。	①多文化共生協議会での審議 ②パブリックコメントの実施	①開催回数 ②パブリックコメントの実施	①4回 ②実施	①4回 ②実施	一般	757	—	523	0.9	0.2	多文化共生推進計画の策定	計画策定	—	—	—	令和4年度末までに、協議会での審議や市民意見聴取等が完了し、多文化共生推進計画ができていくことを目標値として設定した。	計画策定	A	A	計画通り、協議会とパブリックコメントを実施し、計画が策定されている。 協議会を開催し、多文化共生推進計画の4つの施策に係る具体的な内容や計画の進捗について協議する。	
国際交流課	62	多文化共生人材育成事業	H 27 -	市(直営)	本市の国際化・多文化共生を推進するため、国際交流員等を派遣し国際感覚豊かな市民や次世代を担う人材の育成を図る。	①英語・中国語・フランス語国際交流員(CIR)の派遣によることも圏等を対象とした国際理解講座や市政出前講座の開催 ②多文化共生サポーター養成講座の開催	①国際理解講座、市政出前講座の派遣回数 ②多文化共生サポーター養成講座の開催回数	①80回 ②1回	①128回 ②1回	一般	272	—	133	0.6	2.0	①国際理解講座の受講関係者満足度 ②多文化共生サポーター修了者数	①100% ②20人	①100% ②19人	①100% ②21人	①100%	①受講関係者アンケートを実施し、直近3か年の実績値から設定した。 ②令和2年度新規講座として開講し、開講当初と同数のサポーターを養成することを目標として、設定した。	①100% ②19人	A	A	①今年度よりプロジェクターを使用して講座を行った。各国の写真や映像を見せることで、受講者の興味や理解をより深めることができた。また、スクリーンになったことで、一度に多くの受講者に対応できるようになった。 ②定員20人に対して、22人から応募があり、選考した受講生20人のうち19人が講座を修了することができた。	
国際交流課	63	多文化共生啓発事業	H 27 -	市・補助等(直営・交付先)	本市の国際化・多文化共生を推進するため、市民の多文化共生意識の向上と地域交流の促進を図る。	①「静岡わいわいワールドフェア」の実施 ②多文化共生のまち推進条例プロモーション事業	①フェアの実施 ②プロモーション事業の開催回数	①実施 ②8回	①実施 ②13回	一般	7,605	—	6,002	0.9	0.8	「多文化共生について興味を持つきっかけとなった」と回答した参加者の割合	92%	96%	85%	95%	直近3か年の実績の平均値から設定した。	94%	A	A	10~11月に「多文化共生月間」を新設し、多文化交流の機会が提供できる新しい企画(一財)静岡市国際交流協会と共に検討する。多文化共生のまち推進条例や関連する取組の認知度向上のため市内各所でプロモーションを引き続き実施する。	

① 所属 課名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		② 事業 事業名	③ 期間	④ 事業 の実施主体	⑤ 事業 の目的	⑥ 事業 の内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費		⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)						⑪ 評価	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
							指標名	当年度 の目標値	実績値	合計	予算 (千円)		前年度 からの 繰越額 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	会計 年度 当年度 職員 (人)	指標名	当年度 の目標値			直近3か年の実績値			実績値	達成 度	
																					R3	R2	R1			当年度 の目標値の算出根拠
国際 交流 課	64	多文化共生 総合相談セ ンター運営 事業	H 31 -	市 (委託)	外国人住民等が 安心して生活で きるよう、生活 上の相談や情報 提供を多言語や やさしい日本語 で行う相談窓口 を運営する。	多文化共生総合 相談センターの 設置運営	多言語に対応し た総合相談セ ンターの運営	実施	実施	一般	12,997	—	11,945	0.5	0.0	相談完了率	95%	100%	100%	—	96%	A	A	1,359件の相談に対応した。今年 度から行政書士と協働し在留資格 など専門的な相談に、随時対応 することができた。	新型コロナウイルス感染症の状況 が落ち着いたことで相談内容も変 化してきていると思われる。在住外国人 の在留資格や国籍等のデータや 相談内容を分析し、関係団体との ネットワークを強化するなどニーズ に応じた相談体制を充実させる。	
国際 交流 課	65	自治体国際 化協会静岡 市支部負担 金	H 17 -	補助等 (交付先)	地域の国際化の 推進を図るため、地方公共団 体の共同組織と して設置された 自治体国際化 協会へ負担金を 支出する。	①静岡市支部と して、自治体国際化協 会の分担金を支出 ②協会が提供するメ ニューの活用	①活用メニュー の申請・報告等 事務処理の円滑 な実施 ②自治体国際化 協会との連絡	①実施 ②随時	①実施 ②随時	一般	10,000	—	10,000	0.1	0.0	自治体国際化協 会が提供する事 業メニューの活用 件数	8件	10件	8件	8件	16件	S	S	研修メニューの利用に加え、今年 度は同協会バリエーション所へお茶に 関する消費動向調査を依頼した。 今後実施するプロモーション及び 輸出する商品選定の参考とするこ うができた。	自治体国際化協会が提供するメ ニューを、積極的に庁内関係各課 に提案するなどして、メニューの活 用を促していく。	
歴史 文化 課	66	歴史文化推 進事業	H 28 -R 5	補助等 (市・交付 先)	歴史文化のまち づくりを推進す るため、家康公が 愛したまち静岡 の情報を発信し 、市内の歴史 資源への関心を 高める。	徳川みらい学会等と 連携した家康公顕 彰事業や地域の歴史 を研究する事業の実 施	徳川みらい学会 と連携した家康 公顕彰事業の実 施	2回/年	2回/年	一般	2,428	—	2,398	1.0	0.0	徳川みらい学会と 共催で実施する 講演会の入場者 数のうち市が募集 した入場者数	200人	173人	202人	316人	222人	S	S	実績は、目標値の111%であり、期 待通りの水準で目標を達成でき た。	R4年度事業の改善点、問題点を 踏まえて次年度以降の事業の実 施について効果的な告知に向け た情報発信を図っていくことと したい。	
歴史 文化 課	67	朝鮮通信使 発信事業	H 27 -	市 (直営・委 託)	ユネスコ「世界の 記憶」へ登録さ れた朝鮮通信使 に関する記録 やそれに関連 する資料等を、 市内外へ向け て広く発信し、 市民の誇りの醸 成へと繋げる。	釜山文化財団等との 交流事業と連携した 朝鮮通信使講座事 業の実施	朝鮮通信使講座 事業の実施	3回/年	3回/年	一般	427	—	423	0.5	0.0	講座参加者満足 度調査で満足と 回答した人の割 合	80%	79%	—	—	91%	S	S	実績は目標値の113%であり、期 待を上回る水準で目標を達成でき た。第1回目講座の会場を開館直 後で話題性のある歴史博物館に したことで、新たな客層を取り込 むことができ、朝鮮通信使の普及 に繋がった。	R4年度講座事業の改善点を洗い 出すとともに、関係団体との情報 交換の場をもち、引き続き講座内 容の改善を図る。より多くの市民 に情報発信し、関心を高める工夫 を継続していく。	
歴史 文化 課	68	駿府城二の 丸施設管理 運営	H 27 -	市 (直営・委 託)	歴史的な名所の 核の一つである 駿府城公園の東 御門・翼橋など、 3施設を平成28 年度より一体管 理し、利用を推 進する。	①施設の管理(指定 管理) ②イベントの実施	①歴史体験学習 事業の実施回数 ②施設PR、新規 顧客獲得事業の 実施回数	①4回/ 年 ②2回/ 年	①7回/ 年 ②3回/ 年	一般	88,210	—	71,640	1.0	0.0	利用者満足度調 査で満足と回答 した人の割合	90%	91%	85.5%	90.0%	90.80%	A	A	過去3か年の実績を元 に、高水準での利用者満 足度維持を目標として 設定した。	3施設一体管理のメリットを活か し、歴史博物館等の周辺施設 や類似施設との連携強化を図り 、さらなる利用促進及び魅力ある 事業展開をしていく。	
歴史 文化 課	69	駿府城跡天 守台野外展 示事業	R 2 -	市 (直営・委 託)	発掘調査成果を 踏まえ、徳川家 康と豊臣秀吉が 関わったと考え られる本物の天 守台の迫力を間 近に感じることが できる日本唯一 の野外展示とし て、遺構の保存 と活用を両立さ せた整備を行 う。	①実施設計の実施 ②デジタル技術を活 用したコンテンツ作 成の実施	①業務の実施 ②業務の実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	57,740	—	1,742	2.0	2.5	工事に必要となる 実施設計の概要 の進捗率	100%	100%	70%	—	40.0%	C	C	次年度以降に工事を行う ために、今年度は実施設計 の概要を決めておく必要 があるため、100%とし た。	実施設計の概要の作成を進める なかで、関係機関等との協議調整 の必要が生じ、その内容を踏ま えて追加の検討を行ったことか ら進捗率が低くなった。	次年度以降、周囲の諸条件との 整合を的確に図っていくよう細 心の注意を払いながら実施設計 、工事と連携なく進めていく たい。
歴史 文化 課	70	駿府城跡天 守台発掘調 査見える化 事業	H 28 -R 5	市 (直営・委 託)	駿府城の天守台 跡地の整備方針 決定に向け学術 的データを得る ために実施する 発掘調査を、歴 史学習の場、観 光資源としても 活用し、駿府城 及び天守台への 関心を高める。	①常設見学ゾーン、 展示棟の設置、運営 ②HP等による発掘 情報の発信 ③発掘調査関連イ ベント実施	①HPによる発掘 情報発信回数 ②イベントの実 施回数	①24回/ 年 ②7回/ 年	①40回 ②3回	一般	15,125	—	—	1.5	2.5	歴史文化課HP 「さきがけミュージ アム」のアクセス 件数	80,000 件	75,284 件	64,534 件	70,888 件	90906 件	S	S	実績は目標値の113%であり、期 待を上回る水準で目標を達成でき た。年間を通じて多くの現場の情 報発信を行うとともに、歴史博物 館のオープンまでの周知の実施を 行い、昨年度を上回る成果があ った。	歴史博物館のオープン後、いか に相乗効果を発揮できるかを勘 案し、相互の周知により力を入 れたい。	
歴史 文化 課	71	歴史文化施 設建設事業	H 27 -R 4	市 (直営・委 託)	輝かしい静岡の 歴史文化を保 存・伝承し、そ の魅力を市内外 へ発信する「歴史 文化のまち」の 中核となる歴史 文化施設の建設 に向けた取組を 行う。	①建設工事 ②展示工事 ③資料調査・購入・ 複製製作 ④運営計画作成	施設建築物の建 設及び展示工事 の実施	実施	実施完了	一般	469,155	2,928,531	3,128,237	6.0	1.2	施設建築物の建 設及び展示工事 の工事進捗率	100%	83%	16%	0%	100%	A	A	令和5年1月の開館に向け、 建設工事は令和4年6月、 展示工事は同年7月までの工 事完了を目標値とした。	開館に向けた工期設定を適切 に行い、目標通りに完了したた め、令和4年度をもって事業完 了	

① 所屬名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		②事業事業名	③期間	④事業の実施主体	⑤事業目的	⑥事業内容	⑦活動指標(アウトプット指標)			⑧事業費			⑨人工	⑩成果指標(アウトカム指標)					⑪評価	⑫評価理由	⑬今後の課題と課題解決に向けた取組内容					
							指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)		決算額(千円)	正職員(人)	非正職員(人)	指標名	当該年度の目標値				直近3か年の実績値			実績値	達成度
																						R3	R2	R1		
歴史文化課	72	歴史文化施設プレ事業	H29 ~R4	市(直営・委託)	市民の機運を高めるため、歴史博物館の開館イベントの開催等を行う。	①開館イベントの開催	①30回/年 ②2回/年	実施完了	一般	8,270	—	102,200	2.0	0.8	歴史博物館ホームページのアクセス件数	70,000件	—	—	—	128,232	S	S	目標達成に向けてグランドオープンに関する広報を積極的に図り、目標値の183%の実勢を達成できたため。	令和4年度をもって事業完了		
歴史文化課	73	歴史博物館管理運営	R4 ~	市(委託)	歴史文化のまちづくりの拠点の核となる歴史博物館を管理運営する。	①企画展示の実施 ②学芸員による解説ツアーの実施回数	①1回/年 ②3回/年	実施完了	一般	251,462	—	248,332	1.0	1.0	施設の入館者数	150,000人	—	—	—	165,103人	S	S	目標達成に向けて集客イベント、企画展示の充実を図り、目標値の110%の実勢を達成できたため。	開館から時間が経過するにつれ、注目度が下がっていき、集客が難しくなる中で、継続的な集客ができるイベントを検討し、実施していく。		
文化財課	74	文化財補助金交付事業(静岡浅間神社)	H26 ~R11	補助等(交付先)	静岡浅間神社の重要文化財建造物に渡り守るため、適正に保存する。	①補助事業の進捗管理 ②補助金交付事務 ③文化庁立会補助	①工務会議支援12回 ②3月交付確定 ③未実施	①実施②完了③立会い要請なしのため未実施	一般	20,000	0	20,000	0.3	0.0	文化財補助金交付(=修理の年度事業完了)	交付完了(1件)	交付完了(1件)	交付完了(1件)	交付完了(1件)	交付完了(1件)	A	A	予算・工程調整、関係機関協議、市から国・県への取次ぎ(進達)等を経て、国・県・市の補助金交付をもって、文化財保存修理の年度事業が完了することを目標とした。	事業の進捗に伴い計画が変更される可能性は高くなるが、文化財所有者・県・文化庁の調整を遅滞なく対応する。		
文化財課	75	文化財補助金交付事業(史跡久能山)	R3 ~R27	補助等(交付先)	史跡久能山を将来に渡り守るため、適正に保存する。	①補助事業の進捗管理 ②補助金交付事務 ③文化庁立会補助	①工務会議支援・工事開始後毎月 ②3月交付確定 ③未実施	①実施②完了③立会い要請なしのため未実施	一般	6,355	0	6,340	0.3	0.0	文化財補助金交付(=修理の年度事業完了)	交付完了(1件)	交付完了(1件)	—	—	交付完了(1件)	A	A	予算・工程調整、関係機関協議、市から国・県への取次ぎ(進達)等を経て、国・県・市の補助金交付をもって、文化財保存修理の年度事業が完了することを目標とした。	事業の進捗に伴い計画が変更される可能性は高くなるが、文化財所有者・県・文化庁の調整を遅滞なく対応する。		
文化財課	76	文化財補助金交付事業	~	補助等(交付先)	市内の指定文化財を将来に渡り守るため、修理、管理や公開等の活用を促進する。	①補助事業進捗管理 ②補助金交付事務	①事業者との協議 ②3月交付確定	①事業者との協議 ②完了	一般	24,940	836	23,024	0.9	0.2	①修理事業件数 ②管理事業件数 ③公開事業件数	①2件 ②7件 ③11件	①9件 ②7件 ③8件	①15件 ②7件 ③9件	①14件 ②7件 ③11件	①9件 ②7件 ③11件	①S ②A ③A	A	申請のあった27団体すべてに遅滞なく交付を完了したため。	申請事業に変更があった場合には早急に申請するよう、申請者に周知するとともに、担当者がこまめにヒアリングをして状況把握に努める。		
文化財課	77	地域文化の担い手育成事業	H25 ~	市(直営・委託)	民俗芸能保存団体の活動を後世に引継ぐため、活動機会を設けて活性化を図るとともに、その魅力を発信する。また、文化財の保存・活用や行政との協働を行う市民を育成する。	①大神楽祭開催 ②養成講座受講者数	①開催 ②2名	①開催 ②7名	一般	2,344	0	1,321	1.0	0.2	①大神楽祭来場者数 ②文化財サポーター登録率	①1,000人 ②87%	①中止 ②94%	①中止 ②82%	①2,000人 ②87%	①2,000人 ②86%	①S ②A	A	①来場者数は延べ約2,000人で、令和元年度(新型コロナウイルス感染症流行以前)と同水準の来場者数を確保することができた。 ②文化財サポーターの登録率は、3年の平均値である87%をほぼ達成できた。	①出演団体が固定化している。新型コロナウイルスの影響で出演を辞退した団体にも今後出演交渉をしていく。 ②登録率は維持しているため、受講生が減少傾向にあるため、講座内容・広報など見直しを行う。		
文化財課	78	一般文化財保護事業	~	市(直営・委託)	市内の文化財を将来に渡り守るため、文化財の指定等の重要事項について専門家による審議を行う。また、調査や顕彰等を行い、市民が文化財に触れる機会を提供する。	①文化財保護審議会開催2回以上 ②集中調査の実施 ③町名碑設置数 ④特別公開事業の実施	①2回 ②実施 ③4基 ④実施	①2回 ②実施 ③4基 ④実施	一般	8,364	0	6,204	1.0	0.7	①文化財調査の実施件数 ②古文書調査報告書の刊行 ③町名碑設置進捗率 ④特別公開箇所数	①5件 ②実施 ③100% ④10箇所	①5件 ②実施 ③92% ④4箇所	①3件 ②実施 ③84% ④10箇所	①4件 ②実施 ③76% ④11箇所	①8件 ②実施 ③100% ④13箇所	①A ②A ③A ④S	A	①調査の必要のある文化財を5件調査した。 ②調査内容をまとめたものについて、市民が参照できる状態とした。 ③町名碑50基の設置が完了した。 ④市内の指定文化財所有施設14か所で特別公開を行うことができ、目標値を上回ったため	①文献等の確認により未指定文化財の把握を行い、計画的な調査につなげていく。 ②調査した資料について、広く市民に発信する。 ③事業開始時の石碑については、石碑の経年劣化などが確認されるため、適切な維持管理を実施していく。 ④市民の一部にしか認知されていないので、効果的な広報活動を行い、事業の認知度向上と来場者の増加を目指す。		
文化財課	79	文化財管理事業	~	市(直営・委託)	本市が所有する登録文化財等を将来に渡り守るための管理、修理、活用等を行い、市民が文化財に触れる機会を提供する。	①管理業務(顕彰事業を含む)等の委託状況 ②改修工事基本設計・実施設計	①実施 ②実施	①実施	一般	92,952	0	88,032	1.0	0.5	入場者数(旧エンバーソン住宅、旧マッケンジー住宅、旧五十嵐邸、お休み処、小池邸、次郎長生家)	29,000人	24,296人	19,225人	39,507人	28,111人	A	A	コロナウイルスの影響が取りつめる状況で前年度を大きく上回り、20%増加の目標を概ね達成できたため。	新たな来場者を呼び込むため、ユークスベニューの実施等を行う。		

① 所屬名	② 事務事業名	③ 期間	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
			④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費			⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容					
						指標名	当年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの継続額(千円)		決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当年度の目標値				直近3か年の実績値			実績値	達成度
																					R3	R2	R1		
文化財課	80	R 3 ~R 4	市(直営)	「国の記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」である「由比北田の天王船流し」を将来に引継ぐため記録を作成する。	行事の現地調査及び文献調査を行う。	①調査会議の開催 ②報告書の作成	①4回 ②刊行	①4回 ②刊行	一般	3,834	0	2,889	0.2	0.4	調査の進捗率	100%	70%	—	—	令和4年度までの調査事業であるため、事業の完遂を目標とした。	100%	A	①調査委員会を4回開催することができ、目標値を達成したため。 ②予定通り調査報告書を刊行し、事業を完遂したため。	船の製作技術など調査報告書だけでは記録が難しい要素が多数あるため、担い手が今後も行事を継承していくために映像記録が必要。国庫補助金を活用して映像記録を作成する。	
文化財課	81	R 4 ~R 6	市(直営・委託)	市内の多様な文化財を総合的に把握し、調査、指定、保存、活用等の方針を定めることで、地域振興に資するとともに確実な文化財の継承につなげる。	文化財保存活用地域計画を策定する。(文化庁の認定を受ける。)	①計画策定支援業務の委託 ②策定懇話会の開催 ③文化庁協議	①実施 ②1回 ③3回	①実施 ②1回 ③2回	一般	4,626	0	4,084	1.3	0.0	計画策定の進捗率	36%	—	—	—	令和6年度の計画認定に向け、策定懇話会及び文化庁協議の実施予定数に基づいて進捗率を設定した。 ・策定懇話会R4:1回、R5:2回、R6:1回 ・文化庁協議R4:3回、R5:3回、R6:1回	36%	A	A	①契約策定支援業務の委託契約を予定通り結んだため。 ②策定懇話会を1回予定通り実施したため。 ③文化庁協議2回と、文化庁の派遣するアドバイザーとの協議を1回実施したため。	市内には数多くの文化財が所在しており、歴史的背景も多種多様であり、市民に分かりやすくとめて説明することに課題がある。令和5年度に計画案の精度を高め、令和6年度に計画案の内容、令和6年度に文化の認定を目指し事業を進める。
文化財課	82	H 22 ~	市(直営)	静岡の古代仏教文化の中心となった駿河国分寺の価値を未来に伝える史跡として保存活用を図る。	①民有地を順次公有地化する。 ②地下遺構を把握するための調査(発掘調査)を実施する。 ③史跡整備委員会の運営。	①用地買収の契約件数 ②発掘調査件数 ③整備委員会の開催	①1件 ②1件 ③1回	①1件 ②1件 ③1回	一般	62,926	-	47,300	1.5	0.5	①公有地化率 ②発掘調査実施率	①40.4% ②100%	①39.8% ②100%	①39.8% ②100%	①38.7% ②75%	①史跡指定地保護のための用地買上げ1件(約189㎡)達成による公有地化率 ②史跡の全貌把握のための発掘調査実施率 上記①②を目標値として設定した。	①40.4% ②100%	①A ②A	A	令和4年度中に、公有地化1件完了、確認調査1件の実施、整備委員会1回を実施し、令和4年度実施予定事業がすべて完了したため。	史跡内の民有地は住宅などで分筆されていることから、購入できる面積は小さく、広く公有地化して本整備するまでには時間がかかる。遺構が明確な場所は、整備委員会に諮りながら、遺構の形がわかる表示をする。案内板を立てるなどの暫定整備を行い、訪れて寺院や遺構を知ることできるようにする。
文化財課	83	H 24 ~R 6	市(直営)	石垣と書院が残る小島陣屋跡を未来につなぐ史跡として整備し公開活用を図る。	①史跡整備に向けた書院工事、土木工事の実施 ②保存活用計画の素案作成 ③発掘調査の実施 ④整備事業内容諮問のための整備委員会の運営	①工事実施件数 ②計画素案作成 ③発掘調査の実施 ④整備委員会の開催	①2件 ②実施 ③実施 ③3回	①2件 ②実施 ③実施 ③3回	一般	219,168	-	141,402	1.5	0.5	今年度事業計画達成率	100%	100%	75%	100%	御殿書院移築復原工事、土木工事、保存活用計画素案の作成、発掘調査の実施、整備委員会の開催を実施する予定であり、その事業計画の達成100%を目標値として設定した。	100%	A	A	令和4年度に予定していた御殿書院移築復原工事のうち、解体工事と屋敷跡での基礎工事完了、史跡整備工事のうち主郭の造成工事、電気・水道等設備工事完了、書院及び多目的広場予定地の発掘調査の実施、整備委員会を3回開催した。併せて保存活用計画の素案作成を完了した。上記により本事業のうち令和4年度に実施すべき業務を達成したため。	【課題】令和4年9月に発生した台風15号により史跡東側急傾斜地が崩落したため、その復旧工事及び対策工事を早急に実施する必要がある。【課題解決に向けた取り組み】急傾斜地対策工事を優先して実施するための整備事業計画の見直しと対策工事に向けた関係機関との調整・協議。
文化財課	84	-	市(直営・委託)	開発によって破壊される埋蔵文化財を発掘調査によって記録として保存する。	①埋蔵文化財包蔵地内外の試掘・確認調査の実施 ②記録保存のための埋蔵文化財発掘調査実施	①試掘確認調査件数 ②発掘調査件数	①②依頼のあった件数	①23件 ②13件	一般	100,537	-	7,752	2.0	1.0	試掘確認調査並びに発掘調査達成率	100%	100%	100%	100%	毎年試掘確認調査及び発掘調査は合計で50件程度の依頼がある。民間開発における調査依頼に迅速に対応するため、年度内実施の依頼があった調査の達成率100%を目標値として設定した。	100%	A	A	公共事業、民間開発等のスケジュールに対応し、事業者と事前協議を行ったうえで、年度内に実施すべき調査を全て実施したため。	開発工事が円滑に進むよう、開発業者と事前協議を綿密に行ったうえで、事前の許可可及び発掘調査の実施を迅速に行う必要がある。開発時期を早めて把握して発掘調査を速やかに実施できる体制を整えていく。
文化財課	85	H 16 ~	市(直営)	出土した埋蔵文化財を体系的に整理保管するとともに、埋蔵文化財を普及教育の場として提供する。	①発掘調査出土資料の整理作業と出土遺物の保管・管理 ②発掘調査成果の展示公開	①出土遺物の実測点数 ②企画展の開催回数	①500点 ②4回	①508点 ②4回	一般	8,291	-	7,521	1.0	5.0	①年報、報告書完成2件以上 ②来館者数	①2件 ②1,458人	①1件 ②1,389人	①3件 ②893人	①2件 ②3345人	①施設設置の本来目的である出土資料の整理作業の結果として作る、年報など報告書完成件数を目標値とした。 ②調査成果を公開した企画展開催等による年間来館者数を、前年度5%増を目標値とした。	①2件 ②2,168人	①A ②S	A	計画していた駿府城跡出土品のほか、市内遺跡発掘調査を含む遺物508点の実測作業を完了した。また、前年度の発掘調査の成果を中心とした展示を1回、テーマ展示を3回実施し、目標来訪者数を達成したため。	発掘調査出土品および図面資料を活用できる状態に整理を進める。整理が完了した遺物を適切に保管していくとともに、定期的に市民に公開していく。
文化財課	86	H 31 ~	市(直営・委託)	世界文化遺産「三保松原」の魅力と価値を国内外へ発信するとともに、松原保全の普及啓発を図る。	①建物の保守、管理 ②展示の保守、管理 ③企画展の開催	①年間を通しての開催 ②年間を通しての公開 ③企画展の開催回数	①実施 ②実施 ③4回	①実施※ ②実施※ ③4回 ※台風15号の影響による休館あり	一般	33,510	-	29,017	2.5	1.0	来館者数	310,000人	253,302人	322,643人	665,744人	新型コロナウイルスの影響を鑑み、前年度の20%増を目標値とする。	423,100人	S	A	年4回の企画展に加え、関連イベントやNPO団体等と連携した展示を開催した。前年度に引き続き感染対策を行い、安心して見学することができる環境を整えた。しかしながら、コロナ禍の影響が改善しつつある社会的要因が主であり、当初の数値目標に近づけていくためには、更なる取組の充実を図ることが必要と認識しているため。	三保松原と施設の関心の向上のため、世界文化遺産登録10周年を記念した富士山関連の企画展やイベントを開催するとともに、運営するサイトやSNSを活用し、他の構成資産の市町村と連携した情報発信に取り組む。

① 事業名	② 事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費		⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)		前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	非正職員(人)	指標名			当該年度の目標値	直近3か年の実績値			実績値	達成度
																				R3	R2	R1		
文化財課	87	三保松原保全活用事業	H 25 -	市(直営・委託)	富士山世界文化遺産の構成資産としての三保松原を後世に引き継ぐため、松原の保全と活用の調和のとれた事業の調整と推進を図る。 ○三保松原の保全とその啓発 ○三保松原の活用のサポート	①マツ材線虫病防除事業 ②松原保全に関する講座開催 ③SNSの毎日の更新	①実施 ②9回 ③365回	①実施 ②13回 ③365回	一般	112,354		104,187	2.5	1.0	①マツ材線虫病による松枯れ ②保全ボランティア参加者数	①1本/ha以下の維持 ②2,400人	①0.42本/ha ②1,946人	①0.59本/ha ②1,256人	①0.77本/ha ②3,989人	①三保松原の松林保全技術会議の「三保松原の松林保全に向けた提言書」における目標値 ②新型コロナウイルスの影響を鑑み、前年度の20%増を目標値とする。	①0.39本 ②4,708人	①S ②S	①令和元年度からドローンを利用したマツ材線虫病防除薬剤散布を実施し、目標値を平成29年度以降継続達成できたため。 ②みしるべ周辺には比較的多くのボランティア参加者が訪れているが、離れた場所ではボランティアの出入りが足りていないため、ウェブサイトのイベントカレンダーや公式SNS等を活用して積極的なPRを上回ったため。	①薬剤散布実施エリア外においてマツ材線虫病による松枯れが近年多発しているため、該当エリアでの伐倒除根を徹底する。 ②みしるべ周辺には比較的多くのボランティア参加者が訪れているが、離れた場所ではボランティアの出入りが足りていないため、ウェブサイトのイベントカレンダーや公式SNS等を活用して積極的なPRを上回ったため。
文化財課	88	登呂博物館管理運営業務	S 47 -	市(直営)	登呂遺跡の価値を市民に発信し、地域の歴史や文化について関心を深めてもらう。 ○幅広い分野の展示 ○講座・講演会等教育普及事業の実施 ○博物館協議会の開催	①特別展・企画展回数 ②各種教育普及事業の開催回数 ③協議会開催回数	①4回 ②25回 ③2回	①5回 ②28回 ③2回	一般	74,563	-	65,949	6.0	6.0	博物館の入館者数	140,000人	118,132人	97,168人	169,568人	新型コロナウイルスの影響が収まりつつあることを鑑み、前年度実績の20%増を目標値として設定。	161,181人	S A	安心して見学できる感染防止対策を行い、特別展1回、企画展4回、教育普及事業、イベントを開催した。目標値を大幅に上回る(36.4%増)結果となったが、コロナ禍の影響が改善しつつある社会的要因が主であり、コロナ禍前の数値目標に近づけていく取組の充実を図ることが必要と認識しているため。	学芸員企画による展覧会や関連事業の開催、教育普及事業の実施に加え、博物館及び遺跡の魅力の情報発信を取り組んでいく。
文化財課	89	「登呂みら」発信事業(登呂博物館)	H 22 -	市(直営)	弥生時代の生活体験を通じ、登呂遺跡の見学者に遺跡の魅力より深く理解してもらう。	登呂遺跡内での体験学習指導の日数	300日	300日	一般	30	-	30	1.0	6.0	遺跡案内、体験学習者数	138,000人	115,821人	93,769人	148,659人	新型コロナウイルスの影響が収まりつつあることを鑑み、前年度実績の20%増を目標値として設定。	157,718人	S A	訪れる人が安心して見学できる感染防止対策を行い体験学習を実施した。目標値を大幅に上回る(36.1%増)結果となったが、コロナ禍の影響が改善しつつある社会的要因が主であり、コロナ禍前の数値目標に近づけていく取組の充実を図ることが必要と認識しているため。	弥生時代の生活体験を通じて遺跡の魅力より深く理解してもらうため、教育普及事業の実施など情報発信を取り組んでいく。
まちは劇場推進課	90	シズオカ×カンヌウィーク開催補助金	H 22 -	補助等(交付先)	姉妹都市カンヌ市で開催されるカンヌ国際映画祭に合わせて開催するシズオカウィーク等の実施により、観光交流人口の拡大及び本市のPRにつなげ、「まちは劇場」の推進を図る。 主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②実行委員会の運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	4,700	0	4,700	0.5	0.0	運動企画数	10事業	10事業	中止	20事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業規模縮小が予想されるため、令和元年の企画数の1/2程度を目標値として設定した。	14事業	S A	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であったが、各業者・団体と協働体制を築き、運動企画を調整したことで企画数が目標を上回ったため、評価はAとした。	姉妹都市カンヌ市と連携し、国際的に事業PRするなど、交流人口の拡大に向け、静岡×カンヌ×映画プロジェクト実行委員会を支援する。
まちは劇場推進課	91	イベントプロモーション事業	R 2 -	市(直営)	「シズオカ×カンヌウィーク」をはじめ、春フェス、夏フェス等パッケージ化したイベントプロモーションの実施により、「まちは劇場」の推進を図る。 各イベントをパッケージ化したプロモーションの実施	事務処理の円滑な実施	実施	未実施	一般	2,000	0	0	0.2	0.0	広告宣伝の実施媒体数	7媒体	中止	中止	-	街中や市内交通機関等から、高い費用対効果が見込める媒体を選定した。選定したすべての媒体でプロモーションを実施することを目標に数値を設定した。	中止	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが縮小となり、プロモーションを行うことができなかった。	ワクチン接種や感染症法の位置づけが変更されるなどしたことにより、多くのイベントが新型コロナウイルス感染症拡大前の賑わいを取り戻しつつあることから、今後はウェブ広告や戦略的な広報など、民間のノウハウを活かしたイベントプロモーションを検討していく。
まちは劇場推進課	92	シズオカ・サンバカーニバル補助金	H 14 -	補助等(交付先)	中心市街地のにぎわい創出として、集客イベント事業に対して補助し、地域住民と観光客との交流及び静岡市を全国にPRすることにより誘客を図る。 毎年5月のGW期間中に開催される「シズオカ・サンバカーニバル」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②実行委員会の運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	6,000	0	6,000	0.2	0.0	来場者数(主催者発表数)	60,000人	中止	中止	135,000人	新型コロナウイルス感染症の影響及び事業規模縮小により、来場者数の減が予想されるため、令和元年の来場者数の1/2程度を目標値として設定した。	90,000人	S A	開催によりまちの賑わいが創出され、本市の魅力を発信したことで、目標以上の成果が上がっている。	集客を図るための効果的な広報活動などを行えるよう主催者を支援していく。
まちは劇場推進課	93	静岡まつり開催補助金	S 32 -	市・補助等(直営・交付先)	本市の歴史文化の紹介を通じて、魅力を広げ、市内外に向けて情報発信することでまちの賑わいを創出し本市を訪れる観光客の増加を図る。 毎年4月に開催される「静岡まつり」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②実行委員会の運営支援 ③公式パンフ作成	①実施 ②実施 ③1回	①実施 ②実施 ③1回	一般	106,245	0	93,206	1.0	0.2	来場者数(主催者発表数)	500,000人	290,000人	中止	1,000,000人	新型コロナウイルス感染症の影響及び事業規模縮小により、来場者数の減が予想されるため、令和元年の来場者数の1/2程度を目標値として設定した。	580,000人	S A	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であったが、開催によりまちの賑わいが創出され、本市の魅力を発信したことで、目標以上の成果が上がっている。	廿日会祭と一体的に運営し、歴史文化のまちづくりによる賑わいづくりに向け、静岡まつり実行委員会を支援する。

①新事業名	②事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など										
		③期間	④事業の実施主体	⑤事業目的	⑥事業内容	⑦活動指標(アウトプット指標)			⑧事業費		⑨人工		⑩成果指標(アウトカム指標)					⑪評価	⑫評価理由	⑬今後の課題と課題解決に向けた取組内容								
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値				実績値	達成度						
																	R3						R2	R1	当該年度の目標値の算出根拠			
まちは劇場推進課	94	おねり保存事業補助金	S	-	補助等(交付先)	本市の伝統行事であるおねりの実施とその継承、保存及び振興を図ることで賑わいを創出し、本市を訪れる観光客の増加を図る。	毎年4月頃実施する「おねり」の主催者である振興会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②協賛活動の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	17,330	0	5,500	0.1	0.0	来場者数(主催者発表数)	50,000人	中止	中止	11,000人	中止	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響及び事業規模縮小により、来場者数の減が予想される。また、来場者の物理的距離の確保に配慮し、イベントを運営するため、例年の来場者数の1/2程度を目標値として設定した。	静岡まつりと一体的に運営し、歴史文化のまちづくりによる賑わいづくりに向け、敬府御振興会を支援する。		
まちは劇場推進課	95	安倍川花火大会開催補助金	S	28	-	市・補助等(直営・交付先)	本市の魅力在市内外に向けて情報発信するとともに、本市を訪れる観光客の増加を図る。	毎年7月最終土曜日に開催される「安倍川花火大会」の主催者である大会本部への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②誘導案内の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	53,758	0	48,700	1.0	0.0	来場者数(主催者発表数)	600,000人	中止	中止	中止	350,000人	B	A	R4年度は前回開催時(H29年度)と同様の事業規模を想定しているため、H29年度の実績値を目標値とした。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であり、来場者は目標値を下回ったが、開催によりまちな賑わいが創出され、本市の魅力を発信することができたため、評価をAとした。	大会趣旨の理解を広めるなど、企業・団体などの参画機会の創出に向け、安倍川花火大会本部を支援する。
まちは劇場推進課	96	清水みなど祭り開催補助金	S	22	-	市・補助等(直営・交付先)	清水を代表する祭りであり、総おどや花火大会などのイベントを通じて賑わいを創出し、本市を訪れる観光客の増加を図る。	毎年8月頃に開催される「清水みなど祭り」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②広報媒体の作成件数	①実施 ②2件	①実施 ②2件	一般	62,004	0	62,004	1.0	0.3	来場者数(主催者発表数)	300,000人	中止	中止	620,000人	330,000人	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数の減が予想される。市内で開催される同規模のイベントの来場者数と同等の数値を目標値として設定した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であったが、開催によりまちな賑わいを創出することができた。	新たな人材確保のため、大学生をボランティアで迎え入れるなど、担い手育成に向け、清水みなど祭り実行委員会を支援する。
まちは劇場推進課	97	大道芸ワールドカップ開催補助金	H	4	-	市・補助等(直営・交付先)	大道芸を中心としたパフォーマンスの演出により、本市の文化的な魅力を増進させ、国内外に向けて発信することで賑わいを創出し、本市を訪れる観光客の増加を図る。	毎年11月頃に開催される「大道芸ワールドカップin静岡」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②イベントプロモーションの実施回数(1回)	①実施 ②未実施	①実施 ②未実施	一般	106,066	0	24,000	1.0	0.3	来場者数(主催者発表数)	400,000人	中止	中止	1,720,000人	690,000人	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響及び事業規模縮小により、来場者数の減が予想される。市内で開催される同規模のイベントの来場者数と同等の数値を目標値として設定した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で、通常よりも規模(参加アーティストや日数等)が縮小されたが、目標以上の来場者を達成し、開催によりまちな賑わいが創出され、本市の魅力が発信できたため、評価をAとした。	組織体制の改善をするなど、持続的な事業運営及び自主財源確保に向け、大道芸ワールドカップ実行委員会を支援する。
まちは劇場推進課	98	静岡おでん祭開催補助金	H	18	-	補助等(交付先)	本市を代表する食べ物のひとつであるおでんに関する情報を広く市内外に発信し、本市を訪れる観光客の増加を図る。	毎年3月に開催される「静岡おでん祭」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②広報活動の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	4,000	0	4,000	0.3	0.0	来場者数(主催者発表数)	140,000人	147,000人	中止	中止	180,000人	S	A	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されることから、令和3年度と同等の来場者数を目標値として設定した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であったが、静岡おでんが多くの人に食され、まちな賑わいを創出することができた。	食文化である静岡おでんを観光資源として活用し、交流人口の拡大に向け、静岡おでん祭実行委員会を支援する。
まちは劇場推進課	99	静岡県高等学校応援団フェスティバル開催補助金	H	24	-	補助等(交付先)	応援団等の活動を披露する場を提供する事業を支援することにより、市内外からの参加者及び関係者の交流を促進し、並びに観覧のために本市を訪れる観光客の増加を図る。	毎年6月に開催される「静岡県高等学校応援団フェスティバル」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②広報活動の円滑な運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	3,000	0	2,001	0.3	0.0	来場者数(主催者発表数)	1,000人	中止	中止	4,000人	3,000人	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数の減が予想されるとともに、物理的距離の確保にも配慮して目標値を設定することとした。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であったが、開催によりまちな賑わいを創出することができた。	事業PRを強化し、全国大会を推進するなど、各地からの誘客に向け、静岡県高等学校応援団フェスティバル実行委員会を支援する。
まちは劇場推進課	100	富士山コスプレ世界大会補助金	H	29	-	補助等(交付先)	コスチューム・ブレイ(漫画及びアニメの登場人物等の扮装をして楽しむことをいふ。)の催事を通じて交流の促進及びにぎわいを創出し、「まちは劇場」の推進を図る。	①毎年11月頃に開催される「富士山コスプレ世界大会」の主催者である実行委員会への補助金交付 ②同事業実行委員会への出席	①補助金交付事務の実施 ②実行委員会出席回数	①実施 ②3回	①実施 ②3回	一般	5,000	0	5,000	0.3	0.0	来場者数(コスプレヤー、一般観覧者合計)	15,000人	中止	中止	38,200人	31,000人	S	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として事前申込制の導入などを検討している。来場者の物理的距離を保つことができた数値として、例年の来場者数の1/2程度に目標値を設定した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上での開催であったが、開催により、コスプレを通じてまちな賑わいを創出することができた。	商店街と連携し、新たな観光資源として有効活用するなど、地域経済の活性化に向け、富士山コスプレ世界大会実行委員会を支援する。

① 所属名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		② 事業名称	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費			⑨ 人工		⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
							指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度		
																		R3	R2						R1	当該年度の目標値の算出根拠
まちは劇場推進課	100	SHIZUOKA PICNIC GARDEN補助金	H30 -	補助等(交付先)	本市の豊富な地場産品を観光資源として市内外に発信し、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目指す。	「SHIZUOKA PICNIC GARDEN」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付事務の実施 ②運営補助	一般	30,000	0	30,000	0.3	0.0	来場者数(主催者発表数)	90,000人	65,900人	17,000人	284,090人	90,000人	A	A	春に6日間、秋に3日間開催することができた。新型コロナウイルス感染症の影響や天候に恵まれない日もあったものの、目標値を達成し、本市の魅力を広げ発信することができたため、評価をAとした。	駿府城公園の魅力向上と本市の豊富な地場産品を観光資源として市内外に発信するために、効果的な情報発信をすることも同時に同時開催のイベントと連携するなど、交流人口の増加に向け、しずおかフェア実行委員会を支援する。			
まちは劇場推進課	102	人の集まる街づくり推進事業	H15 -	市(直営)	周辺地域、商店街等のにぎわい創出を図り、人の集まる街づくり及び地域振興に寄与する	イベント、広報宣伝等を行う者に対して、青葉イベント広場を貸し出す。	青葉イベント広場の適正な貸出	実施	実施	一般	3,234	0	2,759	0.2	0.1	貸出稼働率	40%	22%	12%	44%	55%	S	A	新型コロナウイルスの影響も小さくなり、イベントが回復してきたため、目標値を大きく上回る貸し出し稼働率を達成することができた。	新型コロナウイルスが収束し、イベントが回復していく中で、コロナ前を上回ることを目標とし、適正な貸し出しを行っている。	
まちは劇場推進課	103	「まちは劇場」推進事業 ストレッチシート開催事業	H28 -	市(委託)	市街地において、演劇、ダンスを中心とした文化芸術イベントを開催することで、「まちは劇場」を推進し、まちな存在感を高め、交流人口の増加に資する。	駿府城公園及び周辺市街地において、演劇、ダンスを中心とした文化芸術イベントを開催。	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検収	①1件 ②1件	①1件 ②1件	一般	24,000	0	23,980	0.4	0.0	「ストレッチシート」来場者数	10,000人	13,651人	11,572人	17,852人	10,023人	A	A	引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ開催する必要があるため、令和4年度については、稼働率をコロナ禍以前に回復させることを目指し、目標値を設定した。	令和4年度は3日間開催し、目標値を達成することができた。文化芸術を活かしたまちづくりを広げ発信することができたため、評価をAとした。	演目内容について、次年度コンセプトとともに検討していく。今後の方向性について、関係者と協議を進めていく。
まちは劇場推進課	104	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業	H28 -	市(委託)	オーケストラ等と連携し、オープンスペースでのコンサートを行い、文化を通じてまちなを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	「まちかどコンサート」、「Hotひといきコンサート」、「プレミアムフライデーコンサート」を開催	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①2件 ②13件 ③実施	①2件 ②13件 ③実施	一般	9,920	0	9,531	0.3	0.1	①まちかどコンサート来場者数 ②Hotひといきコンサート来場者数 ③プレミアムフライデーコンサート来場者数	①4,200人 ②534人 ③420人	①4,062人 ②777人	①3,800人 ②1,097人 ③3,789人	①8,614人 ②3,789人	①3,941人 ②494人 ③1,354人	A	A	新型コロナウイルスの影響もあり、一部縮小での開催もあったが、感染対策を講じながら開催することができた。概ね目標通りの来場者数となり、多くの市民に対して生の音楽に触れる機会を提供できた。	まちかどコンサートに来場する年齢層が比較的高く、固定化されつつあるので、開催時間を遅くする、休日に開催するなど通勤通学者にも来場しやすいような工夫をする。	
まちは劇場推進課	105	「まちは劇場」推進事業 市民参加型舞台公演事業	H30 -	市(委託)	あらゆる人々が文化芸術活動に参加できる環境の整備に取組み、本市のプレゼンスの向上及び市民が主役のまちは劇場を推進する。	年齢や性別、障害の有無を問わず参加できる市民参加型の演劇ワークショップ及び発表公演の開催	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検収	①1件 ②1件	①1件 ②1件	一般	5,700	0	5,687	0.3	0.0	①演劇ワークショップの開催回数 ②市民参加型パブリック公演の開催回数	①20回 ②1回	①54回 ②2回	①25回 ②1回	①45回 ②1回	①52回 ②3回	S	S	目標値を大きく上回るワークショップの実施回数となり、健常者と障がい者が同じ舞台上立ち、あらゆる人々が芸術活動に参加できる環境を整備することができた。また観覧者から高い評価を得ることができた(満足度95.2%)ため、評価をSとした。	来場者の更なる増加及び新規のワークショップ参加者募集に向けて、SNS等を活用したPR活動を充実させる。	
まちは劇場推進課	106	ふじのくにせいかい演劇祭開催事業補助金	H30 -	補助等(交付先)	国内有数の演劇祭である「ふじのくにせいかい演劇祭」の開催を支援することで、本市5大構想のひとつであるまちは劇場の推進を図る。	「ふじのくにせいかい演劇祭」の主催者である(公財)静岡舞台芸術センターへの補助金交付	補助金交付事務の適正な実施	実施	実施	一般	41,400	0	34,000	0.1	0.0	来場者数(主催者発表数)	1,440人	1,159人	累計視聴回数56,088回(動画配信)	3,423人	1,683人	S	A	事業規模を縮小して開催となったが、感染拡大防止対策を講じることで、コロナ禍においても生の演劇を観客に届けることができた。また、3年ぶりに海外招聘を実現できた。しかし、コロナ禍以前と比較すると来場者数は減少しているため、評価はAとした。	令和4年度で本市の補助終了となったが、感染拡大防止対策を講じることで、同時期に開催する「ストレッチシート」や「SHIZUOKA PICNIC GARDEN」を通じて主催者との連携は継続し、静岡市の「春」の核となる文化的イベントとして、一体感のある場づくりや情報発信に取り組んでいく。	

① 所属 部署	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
	② 事業 名称	③ 期間	④ 事業 の実施 主体	⑤ 事業 目的	⑥ 事業 内容	⑦ 活動指標 (アウトプット指標)			⑧ 事業費		⑨ 人工	⑩ 成果指標 (アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 理由							
						指標 名	当該年度 の目標値	実績値	合計	予算額 (千円)		前年度 からの 繰越額 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	会計 外 職員 (人)	指標 名			当該年度 の目標値	直近3か年の実績値			実績値	達成 度	
																				R3	R2	R1			当該年度の目標値の算出根拠
100	「まちは劇場」ブランディング事業	H30 -	市(委託)	Webサイトを中心に「まちは劇場」の目指す姿を発信し、市民、国内外からの来訪者、アーティストなど多様なユーザーに応える、共感、共創を生み出すことで、「選ばれたる都市」になるためのブランディングを実施する。	コミュニケーション戦略に基づき、「まちは劇場」関連事業の魅力を国内外へ発信する。また、インナーブランディングとして市民にまちなちの魅力を再発見してもらうプロジェクトを実施する。	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検収	①1件 ②1件	①1件 ②1件	一般	24,500	0	23,980	0.5	0.1	①「まちは劇場」プロモーション映像の制作 ②市民参加型のアートプロジェクトにおけるイベントの実施回数	①1件 ②8回	①1件 ②6回	-	-	「選ばれたる都市」になるための基盤づくりを進めるといふブランディングの方向性に基づき、国内外に向けて「まちは劇場」が目指す都市の姿を発信し、理解を深めてもらう事業を実施する。また、アートプロジェクトにおいて外部アーティストと連携して企画するプログラムを4回実施するが、各プログラムで2回ずつ市民参加型イベントを実施することを目標とする。	①1件 ②26回	①A ②S	A	Webサイトのトップページに使用するコンテンツとして「まちは劇場」プロモーション映像を制作し、「まちは劇場」が目指す都市の姿を発信することができた。また、市民参加型のアートプロジェクトについては、目標の3倍以上のイベントを開催し、まちなちの魅力を再発見し、「まちは劇場」の目指す姿に市民が共感する機会を提供することができたため、評価をAとした。	令和4年度はWebサイト・SNSでのイベント情報発信に加えて、「まちなち」に焦点を当てたコンテンツを多く発信した。アクセス分析の結果「ひと」に関するコンテンツにユーザーの関心が高いことがわかっており、今後も引き続き「ひとの思い」を伝えられるコンテンツを充実させ、市民、国内外からの来訪者、アーティスト、企業・団体など多様なユーザーの共感、共創を生み出すよう取り組む。
100	フェスティバル評価システム構築事業	H30 -	市(委託)	本市で開催されるフェスティバルが、本市にもたらす経済的・社会的影響や効果を分析し、フェスティバルの社会的意義を明らかにするための評価システムを構築する。	令和3年度に実施した拡大調査の結果をシナリオの開催を通じて広く周知する。また、事業最終年度(5年間)の事業検証を実施し、調査結果報告書をまとめる。	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検収	①1件 ②1件	①1件 ②1件	一般	8,794	0	8,716	0.3	0.0	①シナリオの実施 ②調査結果報告書の作成	①実施 ②完成	実施	決定	決定	令和3年度は、7種類の拡大調査を確実に実施することを目標としたが、令和4年度はその成果を周知するシナリオの開催及び報告書作成を目標とする。	①実施 ②完成	A	A	令和3年度に実施した拡大調査の分析・5年間の事業検証を行い、その評価・分析結果をシナリオの開催・及びアーカイブ配信により一般に周知した。また、5年間の取組の成果を最終報告書として取りまとめ、Webサイトで公表するとともに、関係各所に配布できたため、評価をAとした。	令和4年度で事業の最終年度を迎えるが、5年間の取組の成果を令和5年度以降の今後の政策策定に活用していく。
100	「まちは劇場」推進事業 まち劇スポット事業	H30 -	市(直営)	都市全体が劇場のようになり、華やかで活気が溢れた魅力的なまちを目指し、地域経済の活性化および交流人口の増加を図る。	「まちなち」の様々な空間において、様々なジャンルの文化に触れる機会、アーティストと市民が出会う機会を数多く提供するために、パフォーマンス環境を整備。	①スポット指定箇所数 ②アーティスト審査会の実施	①10箇所 ②1回	①10箇所 ②1回	一般	1,324	0	922	0.7	0.0	①ライセンス保有者数 ②移動回数(延べ)	①84組 ②240回	①79組 ②90回	①66組 ②25回	①65組 ②371回	①現在の登録パフォーマー組数(79組)プラス新規パフォーマー5組以上とした84組を目標とする。 ②令和3年度の月ごとの実績を踏まえ、20回/月×12月=240回を目標値とした。	①76組 ②395回	①A ②S	A	新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに沿って、パフォーマンス環境を提供し、目標を上回る回数の実施ができた。	新規パフォーマンススポットやストリートピアノの設置を検討する。
110	国際文化交流事業	H31 -	市(直営・委託)	フェスティバルの国際化、国内外への情報発信、インパウンドの拡大を図る。	静岡市、韓国・釜山市で開催されるフェスティバルにアーティストを派遣し、文化交流を行う。	①業務委託契約の締結 ②業務完了報告書の確認、検収	①1件 ②1件	①1件 ②1件	一般	11,105	0	6,275	0.5	0.0	釜山との国際文化交流の機会	実施	中止	中止	実施	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け5月の釜山での交流事業は中止となったが、代替事業として釜山文化財団とオンライン美術大会を開催した。また、10月の文化交流公演は3年ぶりに実施され、両国の文化交流と市民が韓国の文化に触れる機会を提供できたため、評価をAとした。	実施	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け5月の釜山での交流事業は中止となったが、代替事業として釜山文化財団とオンライン美術大会を開催した。また、10月の文化交流公演は3年ぶりに実施され、両国の文化交流と市民が韓国の文化に触れる機会を提供できたため、評価をAとした。	令和5年度より通常規模で事業開催の見込みであり、交流をより活発にするために国外に向けて静岡をPRする方法を検討する。
110	「まちは劇場」推進事業 駿府城夏まつり開催負担金	R4 -	補助等(市・交付)	まちは劇場施策の拠点形成事業の夏フェスを構築することにより、若い世代に静岡で過ごす夏の豊かさを実感してもらうことで、若年層の人口流出の防止、市民のシンクプライドの醸成、交流人口の増加を図る。	8月頃に開催される「駿府城夏まつり」の主催者である実行委員会への負担金交付	①負担金交付事務の実施 ②実行委員会の運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	55,000	0	55,000	0.5	0.0	来場者数(主催者発表数)	100,000人	-	-	-	令和4年度が初開催となるが、以前まで同時期に行われていたフェスタがずおか、水祭の実績から目標値を設定した。	100,000人	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの感染拡大防止策を講じて開催し目標値を達成することができた。本市の魅力を広く発信することができたため、評価をAとした。	令和4年度初開催のため、静岡の夏祭りとして市民に浸透していない。駿府城夏まつりを継続し、若者が集う夏の核事業となるよう公民連携して企画運営をしていく。
110	「まちは劇場」TRY'22事業	R4 -	補助等(市・交付)	コロナ禍でイベントの開催が停滞する中、公民連携による推進体制を構築し、イベントの回復や持続的な開催を支援することで、地域経済の活性化を図る。	イベントの開催を支援する。まちは劇場TRY'22推進委員会への負担金交付	①負担金交付事務の実施 ②推進委員会の運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	147,000	77,215	223,551	1.0	0.2	「まちは劇場TRY'22」イベント数	250件	-	-	-	年間のイベント開催数をコロナ禍以前並みに回復させるため、月22件×11月=250件を目標値として設定した。	558件	S	S	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になったイベントを支援することで、市内で多くのイベントが開催され、目標値を達成することができ、市内における賑わい創出や、個人の消費活動を促すことができたため、評価をSとした。	まちは劇場TRY'22により、復活したイベントを今後どのように継続させていくか検討し、取組んでいく。



① 所屬名	② 事業事業名	③ 期間	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
			④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 成果指標(アウトカム指標)						⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度		
																	R3	R2						R1	当該年度の目標値の算出根拠
文化振興課	静岡市民文化会館管理運営事業	S 53 ~	市(直営・委託)	市民に文化活動の場と多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図る。	指定管理者制度による館の運営(受付・案内・利用料徴収・設備の管理・事業等)修繕、大規模改修など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング回数 ③指定管理業務報確認・検査件数(年報1件、月報12件)	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	一般	297,536	-	297,035	1.0	0.0	①年間利用者数 ②年間施設利用率	①50万人 ②70%	①234,948人 ②58.9%	①111,400人 ②44.6%	①442,609人 ②62.6%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	①388,974人 ②62.1%	①B ②B	A	新型コロナウイルスの影響により、目標値に届かなかったが、過去2年と比べると利用者数、利用率は改善されており、多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供や施設・設備の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。	新型コロナによる利用控えの影響が多少残ると考える。ただし、目標の達成のため、指定管理者が多彩な事業を展開し、広報活動に努めるなどし、集客を図っていく。
文化振興課	静岡市民文化会館前駐車場管理運営事業	S 53 ~	市(直営・委託)	静岡市民文化会館、静岡市中央体育館及び静岡市青少年研修センターに自動車でも駐車する方の駐車場の用供するため、駐車場を運営する。	指定管理者制度による駐車場の運営(入庫・精算・出庫管理、場内管理等)、修繕など。	①指定管理業務協定締結件数 ②指定管理業務のモニタリング実施回数 ③指定管理業務報確認・検査件数(年報1件、月報12件)	①1件 ②3回 ③13件	①1件 ②3回 ③13件	一般	277	-	0	0.5	0.0	年間利用率	40%	30.1%	23.3%	39.8%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書で設定した目標値	38.10%	A	A	新型コロナウイルスの影響により、目標値に届かなかったが、過去2年と比べると利用率は改善されており、施設・設備の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。	静岡市民文化会館を含む周辺施設の利用者について、新型コロナによる利用控えの影響が多少残ると考える。ただし、満空情報のHP掲載、案内表示の追加など利用者の利便性向上に努め、稼働率の改善を図っていく。
文化振興課	静岡市民文化会館再整備事業	R 1 ~	市(直営)	開館後40年以上経過した静岡市民文化会館について、施設及び設備の更新並びに、静岡都心の芸術文化の拠点になるとともに、市内外から多くの人を惹きつけ、周辺エリアの回遊性を高め、経済波及効果をもたらす施設となるよう、再整備を図る。	・基本設計業者及びPFIアドバイザー業者選定のためのプロポーザル審査委員会の実施 ・選定事業者と適宜連携、調整を行い、PFI事業者との契約締結に向けた準備を進める。	①基本設計業者の契約締結 ②PFIアドバイザー業者の選定 ③円滑な事務の遂行	①基本設計業務の契約締結 ②PFIアドバイザー業務の契約締結 ③実施	①基本設計業務の契約締結 ②PFIアドバイザー業務の契約締結 ③実施	一般	67,200	-	67,000	2.0	0.0	PFI事業者との契約締結	-	-	-	-	令和4～5年度に基本設計業務、令和4～6年度にPFIアドバイザー業務を実施し、PFI事業者を選定するため、令和4年度は数値目標を設定しない。	-	-	A	令和4年8月に、基本設計委託業者及びPFIアドバイザー委託業者をそれぞれ選定し、PFI事業者の公募等に向けて、それぞれ順調に業務を進めており、計画どおり進んでいる。	物価高騰の影響により、「静岡市民文化会館再整備基本構想・基本計画」策定時の経費を上回る可能性が出ている。改修の内容やPFI運営スキームを精査することで、想定経費を削減、圧縮を進めていく。
文化振興課	清水文化会館管理運営事業	H 24 ~ R 8	市(直営・委託)	市民に文化活動の場と芸術文化の鑑賞機会を提供することにより、市民の芸術文化の向上を図るとともに、文化を核とした清水都心の賑わい・創出を図る。	PFI・指定管理者制度(利用料金制)による館の維持管理・運営(設備の維持管理、利用受付・貸出・案内・自主事業等)	①通知書送付件数 ②委託業務契約の締結件数(モニタリング支援) ③モニタリング実施回数 ④指定管理業務報告書、財務に関する報告書・検査件数	①1件 ②1件 ③3回 ④15回 (維持管理・運営)1回(財務)	①1件 ②1件 ③3回 ④15回 (維持管理・運営)1回(財務)	一般	270,898	-	270,595	1.0	0.0	①年間来館者数 ②ホール・ギャラリー利用率	①500,000人 ②70.0%	①181,111人 ②68.2%	①73,954人 ②44.0%	①439,484人 ②83.5%	「清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業 運営業務仕様書」における事業期間第3ターム(令和4年度～令和8年度)で設定した目標値。	①245,961人 ②75.1%	①C ②A	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したことで目標値に届かなかったが、その影響を除けば、多彩な芸術文化の鑑賞機会の提供や施設・設備の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。	多彩な芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、引き続き広報等により集客を図り、施設の利用率向上に努めていく。
文化振興課	文化振興計画進捗管理事業	H 28 ~	市(直営)	静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例に基づき策定された静岡市文化振興計画の進捗管理を行う。	静岡市文化振興計画の進捗管理	審議会開催件数	4回	4回	一般	1,905	-	911	1.0	0.0	審議会への後期実施計画のR3年度実施報告及び評価審議の実施に伴う報告書の作成	完成	-	-	-	当該業務は計画の実施報告ならびに審議会での報告書完成を目標としており、定量的評価が適当で無いため、数値目標を設定しない。	完成	A	A	5回の審議会開催を経て、委員から関連な意見をいただきながら計画を策定することが出来た。審議会としての役割を十分に認識し、計画に対する思いや今後の静岡市の文化行政のあり方を踏まえて検討することが出来た。	策定した第2期静岡市文化振興計画における成果目標達成のための進捗管理を適切に行う。
文化振興課	文化振興審議会開催事業	H 29 ~	市(直営)	静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例に基づき、文化の振興に関する市の施策の総合的な推進を図るため、静岡市文化振興審議会を開催する。	静岡市文化振興審議会の開催	審議会開催件数	4回	4回	一般	1,905	-	911	1.0	0.0	審議会への後期実施計画のR3年度実施報告及び評価審議の実施に伴う報告書の作成	完成	-	-	-	当該業務は計画の実施報告ならびに審議会での報告書完成を目標としており、定量的評価が適当で無いため、数値目標を設定しない。	完成	A	A	5回の審議会開催を経て、委員から関連な意見をいただきながら計画を策定することが出来た。審議会としての役割を十分に認識し、計画に対する思いや今後の静岡市の文化行政のあり方を踏まえて検討することが出来た。	第2期静岡市文化振興計画を基に成果目標達成に向けて、事業の位置づけや進捗管理の議論が活発に行われるよう円滑に審議会を実施する必要がある。

① 所屬名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など				
		② 事業事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費					⑨ 成果指標(アウトカム指標)					⑩ 評価理由	⑪ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容			
							指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値				実績値	達成度	
																		R3	R2					R1
文化振興課	119	芸術文化奨励賞審査委員会開催事業	-	市(直営)	推薦を受けた静岡市芸術文化奨励賞の受賞候補者に係る審査を行うため、静岡市芸術文化奨励賞審査委員会を設置・開催する。	審査委員会開催件数	1件	1件	一般	64	-	36	0.4	0.0	R4年度審査委員会への候補者資料作成及び審査会実施に伴う審査結果の発表	完了	-	-	-	完了	A	A	審査委員会は例年と同時期に開催され、受賞者1名と1団体を選出した。開催目的を十分達成しており、評価できるため。	若年層の候補者を増やすために、広報手段等を検討していく必要がある。
文化振興課	120	芸術文化奨励賞授賞式開催事業	H15-	市(直営)	静岡市芸術文化奨励賞の受賞者に記念品等を授与する授賞式を開催する。	授賞式開催件数	1件	1件	一般	290	-	243	0.5	0.0	R4年度授賞式開催準備及び受賞者への賞賜金等手配の完了	完了	-	-	-	完了	A	A	令和4年11月2日に授賞式を開催し、1名と1団体の受賞者を輩出した。授賞式は悪く開催され、目標が達成できたため。	例年、受賞者数は推薦状況に応じて変化するため予算額の見込みが難しく、予算流用を伴う場合がある。事務に滞りが無いよう、配慮して進めていく必要がある。
文化振興課	121	文化振興事業の実施経費	H5-	市(委託)	文化振興施策の一環として、様々な文化事業を効果的に実施し、本市の文化振興を図る。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②12件 ③12件	①1件 ②12件 ③12件	一般	26,265	-	26,239	0.3	0.0	①「文化芸術アウトリーチプログラム事業」訪問回数 ②「静岡市民文芸」一般応募者数 ③「静岡市民芸術発表会」参加団体数 ④「伝統文化ワークショップ」参加者数 ⑤「オーケストラ鑑賞事業」参加者アンケート満足度 ⑥「竹久夢二作品等展覧会」実施 ⑦「平野富山作品等の保管及び展示等業務」展示替回数	①9件 ②261人 ③67団体 ④40団体 ④120人 ⑤96.2% ⑥95.0% ⑦3回	①- ②261人 ③57団体 ④148人 ⑤98.3% ⑥2,815人 ⑦3回	①- ②273人 ③133団体 ④218人 ⑤92.1% ⑥778人 ⑦3回	①11回 ②279人 ③81団体 ④116人 ⑤93.8% ⑥実施 ⑦3回	文化芸術アウトリーチプログラム事業では、市立こども園を初めとする市内11か所の施設において、和楽器を中心としたコンサートを実施し、施設及び参加者から高い満足度を得ることができた。市民芸術発表会では、新型コロナウイルス感染症対策を行い、コロナ禍における文化芸術に携わる市民の「発表の場」を絶やす事なく提供する事が出来た。	概ね目標値を達成しているものの、コロナ以前の応募者数、参加者数及び観覧者数には戻っていない、引き続き、広報手段の検討・実施に取り組んでいく。			
文化振興課	122	静岡市民文化祭企画運営業務	H15-	市(委託)	広く市民に創作発表および鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化を一般に普及し市民文化向上を図る。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③事務処理の円滑な実施	①1件 ②1件 ③実施	①1件 ②1件 ③実施	一般	3,522	-	3,520	0.3	0.0	静岡市民文化祭来場者数	14,000人	10,658人	747人	20,132人	11,758人	B	B	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、感染症流行前に近い形で実施することが出来た。コロナ収束を見据えて目標値を設定したが、感染拡大の収束が思うように進まず、来場者・出品者数共に伸び悩む結果となった。	出品者数及び来場者数の回復に向け、安全な事業の実施と広報を継続していく。
文化振興課	123	まちは劇場コンサート事業	-	市(委託)	市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートや親子コンサートをを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。	①学校訪問コンサート ②こども園訪問コンサート ③親子コンサートの実施	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認件数 ③検収件数	①1件 ②1件 ③2件 ③2件	一般	23,369	-	23,301	0.3	0.0	①学校訪問コンサート実施校数 ②こども園訪問コンサートの実施回数 ③親子コンサート応募人数	①8校 ②14園 ③3,700人	①8校 ②18園 ③6,964人	①6校 ②24園 ③6,734人	①14校 ②- ③8,614人	①8校 ②18園 ③5,969人	A	A	訪問コンサートでは多くの学校・こども園に応募いただき実施することが出来た。本格的なオーケストラの曲目から子供たちに馴染みのある曲まで迫力ある生演奏を子供たちに届けることができた。	親子コンサートの応募人数は、目標値は大きく上回っているものの、年々応募人数は減少していることから、広報活動に努めるなどし、集客を図っていく。訪問コンサートについては、毎年多くの学校・こども園から応募があるため、未実施校・園を優先して早期の実施を図っていく。

① 所屬名	② 事務事業名	③ 期間	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
			④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費			⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)		決算額(千円)	達成率(%)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名				当該年度の目標値	直近3か年の実績値			実績値	達成率
																						R3	R2	R1		
文化振興課	第81期A級順位戦最終局静岡市実行委員会負担金	H29～	補助等(交付先)	徳川家康公とゆかりの深い将棋を通じて、静岡市と家康公の繋がりを全国に向けて発信するとともに、静岡市における将棋文化の振興と地域活性化を図る。	多面指し指導将棋、色紙サイン会、大盤解説会等、「A級順位戦最終局(第81期A級順位戦最終局)」を開催する。 なお、予算額のうち500千円分については、3次総の重点事業のため局裁量対象外。	負担金交付事務の円滑な実施	実施	実施	一般	7,500	-	7,234	0.5	0.0	①応募者数 ②来場者満足度	①1,059人 ②86%	①948人 ②83%	①436人 ②93%	①1,170人 ②81%	①1,316人 ②79%	①S ②A	A	大盤解説会会場について、新たにサテライト会場を1か所増設するなど、より多くの参加者を受け入れ可能な体制にしたため、応募者数が目標値を大きく上回った。大盤解説会や物販での混雑に係る整備が不十分であったことなどから、来場者満足度は目標値に届かなかった。	昨今の将棋ブームにより、応募者数が増加し、各イベントの当選倍率が高まっている。より多くの参加者を受け入れられるよう、引き続き工夫をしていきたい。		
文化振興課	囲碁事業補助金	R2～	補助等(交付先)	本市と囲碁の結びつきを市内及び国内外に広くアピールし、本市の地域活性化を図るとともに、観光交流の発展の一助とする。	「しずおか囲碁まつり」の開催 なお、予算額のうち2,000千円分については、3次総の重点事業のため局裁量対象外。	①補助金交付事務の円滑な実施 ②交付件数 ③報告書確認件数 ④検収・確定件数	①遅延なく補助金を交付 ②1件 ③1件 ④1件	①遅延なく補助金を交付 ②1件 ③1件 ④1件	一般	3,000	-	2,997	0.4	0.0	来場者数	600人	①78人 ②-	①- ②-	①214 ②280	414人	C	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が減少したことで目標値に届かなかったが、業務は適正に実施できた。	若年層の参加者を増やすために、広報手段と事業内容の両側面から検討していく必要がある。		
文化振興課	市民ギャラリー管理運営事業	H1～	市(委託)	市民に文化に触れる機会と発表の場を提供し、文化の向上を図る。	ギャラリー利用者の受付管理、展示会予定表の作成、作業日誌の作成等の管理運営事務及びギャラリー使用料徴収業務	①業務委託契約の締結 ②業務委託完了報告書の確認 ③業務委託の検収	①1件 ②12件 ③1件	①1件 ②12件 ③1件	一般	6,565	-	6,515	0.0	0.5	年間利用率	68.36%	59.10%	34.55%	68.36%	50.60%	B	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したことで目標値に届かなかったが、業務は適正に実施できた。	利用率の向上を図るため、引き続き広報手段の検討・実施に取り組んでいく。		
文化振興課	文化団体運営費補助金	～	補助等(交付先)	市民文化団体相互の連携協調を図り、広く市民芸術文化活動の向上に寄与している当該団体の活動を支援することにより、本市の文化振興を図る。	静岡市芸術祭の開催費用(会場費含む)、協会誌発行、運営費人件費含む)に対し補助金を交付する。	①補助金交付事務 ②補助金報告書確認件数	①1件 ②1件	①1件 ②1件	一般	14,508	-	14,508	0.3	0.0	①「静岡市芸術祭」来場者数 ②協会誌の発行数	①10,500人 ②1回	①6,999人 ②1回	①中止 ②1回	①20,345人 ②1回	12,039人	S	S	①令和元年度は約20,000人の来場者があり、令和3年度は約7,000人程度と約35%に留まった。芸術祭は公募展ではないため開催事業数が来場者数に直結する事から、令和4年度はこの1.5倍程度の来場を見込み、7,000人×1.5=10,500人を目標値とする。 ②定量評価が難しいため発行完了を以て達成とする。	感染症流行前に近い形で実施することが出来た。コロナ前と比較すると来場者数は回復途中といったところではあるが、感染症対策を行いながら、市民に文化芸術に触れる機会を提供することが出来た	出品者数及び来場者数の回復に向け、安全な事業の実施と広報を継続していく。	
文化振興課	芸術文化活動発表等参加補助金	H15～	市(直営)	芸術文化分野の発表会出場者を称えと共に高レベルの目標を達成するための動機付けの一助とし、もって本市文化振興に寄与すること。	中部大会以上の規模の発表会・全国大会の出場者に補助金を交付する。	①交付決定案件数 ②報告書確認件数、検収・確定件数 ③広告誌による周知の件数	①30件 ②30件 ③1件	①30件 ②30件 ③1件	一般	1,500	-	1,586	0.0	0.3	中部大会以上の規模の発表会・全国大会出場者に補助金を交付した割合	100%	100%	100%	100%	100%	A	A	申請を受け付けた出場者全員に、補助金を確実に交付することができたため、当初の目標値を達成した。	引き続き、広報活動を実施し、周りに努める。		
文化振興課	文化振興事業補助金	H19～	補助等(交付先)	文化活動への支援を通じて、地域や学校・市民の交流を促進し、文化活動の振興を広げ、本市の文化振興の一助とする。	「静岡市こどもミュージカル」への補助金交付	①補助金交付事務の円滑な実施 ②交付件数 ③報告書確認件数 ④検収・確定件数	①遅延なく補助金を交付 ②1件 ③1件 ④1件	①遅延なく補助金を交付 ②1件 ③1件 ④1件	一般	200	-	200	0.0	0.3	「こどもミュージカル」来場者数	-	1,438	-	-	0人	A	A	本年度は準備年度のため。	事業の集客につながるよう、ターゲットの明確化と、それを確実に取り込むための事業内容の検討及び積極的な広報活動を促す。		

① 所属名	② 事務事業名	③ 期間	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
			④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費			⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
						指標名	当年度目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)		決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当年度目標値			直近3か年の実績値			実績値	達成度	評価理由
文化振興課	文化振興事業補助金	H 1 ~	補助等(交付先)	様々な文化活動への支援を通じて、地域や学校・市民の交流を促進し、文化活動の裾野を広げ、本市の文化振興の一助とする。	「静岡市親子書道展」 「静岡市民大音楽祭」 「ふれあい音楽数」 「静岡菊花大会」	①補助金交付事務の円滑な実施 ②交付件数 ③報告書確認件数 ④検収・確定件数	①遅延なく補助金を交付 ②2件 ③2件 ④2件	①遅延なく補助金を交付 ②3件 ③3件 ④3件	一般	7,348	-	4,403	0.0	0.3	来場者数 ①市民大音楽祭 ②ふれあい音楽事業 ③親子書道展出品数 ④静岡菊花大会	①1,600人 ②1,400人 ③2,700点 ④3,400人	①- ②- ③- ④	①1,600人 ②1,169人 ③2,349点 ④4,297人	①- ②509人 ③2,088点 ④2,966人	①-C ②-B ③-B ④-B	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の制限などを行った結果、いずれも目標値に届かなかった。 ※①市民大音楽祭は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	事業の集客につながるよう、ターゲットの明確化と、それを確実に取り込むための事業内容の検討及び積極的な広報活動を促す。			
文化振興課	アマチュアオーケストラフェスティバル補助金	R 4 ~R 4	補助等(交付先)	アマチュアオーケストラフェスティバルへの補助を通じて、地域や市民の交流を促進し、文化活動の裾野を広げ、本市の文化振興の一助とする。	第50回アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会への補助の実施	補助金交付事務の円滑な実施	遅延なく補助金を交付	遅延なく補助金を交付	一般	3,000	-	3,000	0.0	0.3	適正な補助金の交付	補助金の適切な交付	-	-	-	単年度事業のため	補助金の適切な交付	A	A	全国各地から奏者や観客が訪れる大規模な大会への補助金の交付を通し、市民の鑑賞体験や参加者の交流促進など、本市の文化振興に寄与することができた。	当該事業は毎年開催地が異なるため、静岡市での次回開催時期は不明であるが、全国各地からアマチュアオーケストラ奏者を迎える大規模な大会であり、次回開催時にも積極的な広報活動を促していく。
文化振興課	羽衣まつり運営委員会補助金	S 59 ~	補助等(交付先)	伝統文化の伝承と地域づくり及び静岡市の文化活動の場として、市民の文化振興の向上を図る。	毎年10月上旬に羽衣まつり開催のため、市民組織である運営委員会へ補助金を交付する。	補助金交付事務の円滑な実施 ①補助金の交付 ②補助金実績の検収・確定	①遅延なく補助金を交付 ②14件	①遅延なく補助金を交付 ②1件	一般	8,875	-	8,875	1.0	0.0	「羽衣まつり」来場者数	500人	330人	-	-	会場に設置可能な座席数を基に設定。	367人	B	B	地域に根差した伝統文化を継承する事業として、開催地区の協力を得ながら開催することができた。	来場者数は昨年度と比較すると微増ではあったが、目標値に近い数値を達成出来るよう引き続き来場者増に繋がる広報手段を実施していくとともに、鑑賞者のすそ野を広げていく取り組みを検討していく。
文化振興課	文化振興助成事業補助金	H 8 ~	補助等(交付先)	市民等の文化活動を助成する活動を支えることにより、市の文化振興を図る。	「文化振興事業助成制度」を実施する文化振興財団への補助金を交付する。	①補助金交付事務の円滑な実施 ②補助制度の周知のための説明会実施回数	①補助金交付事務の円滑な実施 ②補助制度の周知のための説明会実施回数	①補助金交付事務の円滑な実施 ②補助制度の周知のための説明会実施回数	一般	2,474	-	1,929	0.0	0.4	①申込件数 ②助成件数	①13件 ②10件	①15件 ②10件	①15件 ②11件	①9件 ②9件	①②直近3か年の平均値より目標値を設定した。	①13件 ②11件	①A ②S	A	本年度の申請件数は13件、審査の結果12団体の交付を決定したが、別の補助制度の採択が決定し、交付辞退があったため、最終交付件数は11件となった。	社会情勢や文化を取り巻く諸要素の変化を鑑み、交付既定の改定が行われた。引き続き、助成制度の充実に努めるよう、検討を促していく。
文化振興課	中勘助文学記念館管理運営事業	H 7 ~	市(委託)	作家中勘助氏の業績の顕彰や市民の文化・文芸活動を支援することにより、市民の文化振興を図る。	「中勘助文学記念館」の日常管理運営及び中勘助顕彰事業の実施。	①委託契約締結件数 ②完了報告書確認・検収件数(月報12件)	①7件 ②12回	①8件 ②12回	一般	7,792	-	7,586	0.0	0.5	年間来場者数	2,116人	1,695人	1,252人	2,116人	令和元年度の実績値を基に設定。	1,886人	B	A	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した来場者数は回復傾向にあり、業務も適正に実施できた。	平成30年度から実施している「3館連携事業(現在は芹沢銈介美術館を加えた4館連携)」を活用しながら施設のPRを継続していく。
文化振興課	文化活動事業継続支援補助金	R 3 ~	市(直営)	国、静岡県知事又は静岡市長が新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために定めたガイドラインに基づく新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施する市内会場での文化活動を開催する事業者を支援し、補助金を交付し文化の持続的な振興を図る。	市内にある定員80人以上の会場がガイドラインに基づく新型コロナウイルス感染症対策を講じて、市民の鑑賞を目的とした文化活動を令和5年3月31日までの期間に1回以上実施する事業に対し、定員500人以下に会場を利用する場合2万円、定員500人を超える会場を利用する場合5万円を交付する。	①交付決定案件数 ②報告書確認件数	①120件 ②120件(予算上限に達したため次年度終了する)	①90件 ②90件	一般	4,200	-	2,930	0.0	0.4	申請者に補助金を交付した割合	100%	単年度事業のため実績なし	単年度事業のため実績なし	単年度事業のため実績なし	予算要求時の見込件数。補助金交付申請者に対して、確実に交付決定を行うこととして設定した。	100%	A	A	申請件数90件のうち、該当支出実績なしとして1件申請廃止を行ったが、その他交付申請を受理した申請者すべてに対し、確実に補助金を交付した。	令和4年度にて事業終了

① 事業名	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
	② 事業名称	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 成果指標(アウトカム指標)							⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容			
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度当分の員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値						当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度
																	R3	R2	R1						
文化振興課	136	静岡音楽館管理運営事業	H 7 -	市(直営・委託)	市民の音楽に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	一般	335,973	-	321,072	1.5	0.0	①施設利用率(年間平均) ②定員に対するコンサート入場者数の割合(年間平均)	①84.0% ②70.0%	①68.7% ②54.7%	①60.1% ②75.8%	①77.0% ②67.7%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①76.2% ②64.7%	①A ②A	A	活動指標については達成することができたが、成果指標では新型コロナウイルス感染症の影響で利用率が減少したこと等により目標値に届かなかった。新型コロナウイルス感染症の影響を除けば、事業計画に従い概ね良好に実施された。	施設利用者の裾野を拡大するため、市民の鑑賞機会拡大や地域の音楽家の支援・育成を図り、事業内容を充実させていくことで、施設利用率向上とコンサート入場者数の増加に努めている。
文化振興課	137	静岡科学館管理運営事業	H 15 -	市(直営・委託)	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しむ、及び科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に資する。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	一般	323,711	-	323,477	1.5	0.0	①年間来館者数 ②連携事業回数	①255,000人 ②100回	①110,813人 ②185回	①76,132人 ②114回	①219,830人 ②148回	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①161,063人 ②184回	①C ②S	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や利用者数が減少したことで来館者数は目標値に届かなかったが、その影響を除けば、施設・展示物の適切な維持管理等、業務は適正に実施できた。また、連携事業回数については目標値を上回る回数を実施した。	SNSや展示物を活用した広報活動等により来館者の増加に努めている。
文化振興課	138	静岡市美術館管理運営事業	H 22 -	市(直営・委託)	多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図る。	①協定書締結件数 ②モニタリング実施回数 ③指定管理業務報告書・検査件数	①1件 ②3回 ③13回	①1件 ②3回 ③13回	一般	359,323	-	347,383	1.5	0.0	①累計入館者数(150万人・R2~R6) ②展覧会事業における来場者満足度(年間平均)	①30万人(150万人/5年) ②85%	①191,275人 ②94.8%	①235,248人 ②92.8%	①1,510,545人 ②86.7%	過去の実績をもとに指定管理者と調整の上、協定締結時の仕様書内で設定した目標値	①202,136人 ②95.5%	①C ②S	A	活動指標については達成することができたが、成果指標では新型コロナウイルス感染症の影響で入館者数が減少したことにより目標値に届かなかった。しかし、展覧会事業における来場者満足度は目標値を大きく上回っており、事業計画に従い概ね良好に実施された。	効果的な広報手段を検討することや、事業内容の充実を図ることにより、入館者数の増加に努めている。
文化振興課	139	芹沢銈介美術館協議会開催事業	S 56 -	市(直営)	芹沢銈介美術館協議会で聴取した意見を施設管理運営に反映し、効率的経営、市民サービスの向上を図る。	協議会開催件数	2回	2回	一般	230	0	173	2.0	0.5	①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①24,000人 ②96.3%	①28,013人 ②95.2%	①11,994人 ②98.8%	①16,635人 ②97%	①コロナ禍の影響を考慮し設定した。 ②観覧者アンケートの満足度の直近3か年の平均を考慮し設定した。	①32,363人 ②95.8%	①S ②A	S	来館者数の増加と来館者の満足度が高い水準を維持できたため。	来館者のさらなる増加に向けて、新たな情報発信に取り組むなど、館の認知度向上に努めている。
文化振興課	140	芹沢銈介美術館管理運営事業	S 56 -	市(直営)	静岡市名著名士であり絵染の人間国宝・芹沢銈介が収集した世界各国の工芸品の展示を行うとともに、講座や講演会等教育普及事業を実施する。	①企画展の開催件数 ②講演会・講座等教育普及事業の開催件数 ③開館日数	①4回 ②15回 ③252日	①4回 ②13回 ③252日	一般	60,795	0	52,244	4.0	2.5	①年間観覧者数 ②観覧者満足度	①24,000人 ②96.3%	①28,013人 ②95.2%	①11,994人 ②98.8%	①16,635人 ②97%	①コロナ禍の影響を考慮し設定した。 ②観覧者アンケートの満足度の直近3か年の平均を考慮し設定した。	①32,363人 ②95.8%	①S ②A	S	来館者数の増加と来館者の満足度が高い水準を維持できたため。	来館者のさらなる増加に向けて、新たな情報発信に取り組むなど、館の認知度向上に努めている。
スポーツ振興課	141	蒲原東部・西部コミュニティセンター管理運営事業	H 18 -	市(直営)	市民の自治意識の向上、健康の増進及び生活文化の振興のために、身近な地域における交流の場を提供する。	①各種委託契約締結件数 ②施設の小破修繕の実施	①6件 ②適宜	①6件 ②6件	一般	5,935	-	5,019	0.4	0.1	利用者数	13,026人	10,858人	10,153人	16,205人	過去3か年の利用者数の平均値の5%増を目標値として設定した。	10,648人	B	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により目標値は下回ったが、必要な契約・修繕を滞りなく実施し、適正な管理ができたため。	引き続き、地元自治体と連携・調整を図り、適正な維持管理を継続して行う。
スポーツ振興課	142	野外活動施設管理事業	-	市(直営・委託)	気軽に自然と触れ合える環境を整備することにより、市民の健康増進とレクリエーションの振興を図る。	①土地賃貸借契約締結件数 ②謝金の支払件数 ③キャンプ場、ハイキングコースの整備	①41件 ②70件 ③実施	①41件 ②70件 ③実施	一般	48,283	-	45,874	2.0	0.2	キャンプ場利用者数	5,368人	5,171人	4,674人	5,493人	過去3か年の利用者数の平均値の5%増を目標値として設定した。	4,976人	B	A	台風等の影響により利用者数は目標値を下回ったが、必要な契約・修繕を滞りなく実施し、適正な管理ができたため。	感染症対策として実施している備品等貸出等の規制が、利用者にとっては利便性の低下となっており、令和5年度からは、感染症対策をとった上で備品やテナントの貸出を再開させることで、利便性の向上を図る。
スポーツ振興課	143	興津川キャンプ対策協議会負担金	S 61 -	補助等(交付先)	気軽に自然と触れ合える環境を整備することにより、市民の健康増進とレクリエーションの振興を図る。	①負担金支払に係る事務等の実施 ②総会の開催補助	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	4,524	-	4,524	0.2	0.1	利用者数	24,704人	23,295人	27,865人	19,424人	過去3か年の利用者数の平均値の5%増を目標値として設定した。	19,110人	B	A	台風等の影響により利用者数は目標値を下回ったが、本市から支出した負担金を活用し、協議会により興津川流域の4つのキャンプ場において適正な管理及びマナー啓発が実施されたため。	令和4年9月の台風15号の被害で流失した茂野島キャンプ場の管理棟について再設置を要する。今後、協議会とともに設置箇所を検討し、必要な申請を経て、令和5年度事業期間中に再設置する。

①新年度 事業名	②事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		③期間	④事業の実施主体	⑤事業目的	⑥事業内容	⑦活動指標(アウトプット指標)			⑧事業費					⑨成果指標(アウトカム指標)					⑩評価	⑪評価理由	⑫今後の課題と課題解決に向けた対応内容				
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度当額(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度		
																	R3	R2						R1	当該年度の目標値の算出根拠
スポーツ振興課	144	スポーツ施設予約システム管理事業	H 21 -	市(直営・委託)	インターネットを活用したサービスを提供することにより、各種スポーツ施設予約の利便性向上を図る。 ①利用者登録 ②抽選申込み ③空き施設検索、予約申込 ④利用許可書発行	①利用者登録 ②システム運用の円滑な実施	①随時 ②実施	①随時実施 ②実施	一般	16,378	—	15,353	1.0	0.4	アクセス件数	1,940,000件	1,933,070件	1,632,701件	1,535,928件	R1、R2は災害や新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館等により、アクセス件数が少なかったが、R4はアクションの普及等により影響が少ないことが予想されるため、H29の実績値(1,878,653件)の近似値を目標値として設定した。	1,948,684件	A	A	必要な契約等の処理を滞りなく実施し、円滑な運用を実施することができ、アクセス数においても目標値を上回ったため。	令和6年度から新システムへの移行を予定しており、価格面・内容面においてより良いシステムを構築できる事業者の選定を要するため、総合評価落札方式を採用して令和5年度に事業者選定を行う。
スポーツ振興課	145	ふれあい健康増進館から管理運営事業	H 18 -	市(委託)	市民が気軽に楽しく心身のリフレッシュに努めることにより、世代間の交流の促進を図るとともに、市民の健康増進に寄与する施設を提供する。 施設の維持管理を行うとともに、市民向けに健康増進に関するスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②入退館管理システム貸借借契約	①2件 ②実施	①2件 ②実施	一般	301,752	—	301,527	0.6	0.1	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①96.0% ②98.6%	①— ②97.2%	①— ②95.5%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①97.8% ②99.6%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。
スポーツ振興課	146	スポーツ施設維持管理事業	H 18 -	市(直営・委託)	スポーツ、レクリエーション等のための施設を提供する。 施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ教室等を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①3件 ②実施	①3件 ②実施	一般	226,376	—	221,445	5.3	2.5	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.8% ②99.4%	①96.7% ②87.5%	①95.6% ②80%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①95.9% ②96.0%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。
スポーツ振興課	147	清水庵原球場管理事業	H 17 -	市(委託)	野球等のスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。 施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	一般	48,659	—	48,273	0.2	0.1	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.7% ②100%	①— ②96.9%	①— ②95.6%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①100% ②85.6%	①S ②A	A	利用者満足度は目標値を達成した。予算執行率は、計画修繕を実施する中でコストカットにより目標値を下回ったが、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。
スポーツ振興課	148	体育館管理運営事業	S 42 -	市(直営・委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。 施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件(総合運動場含む) ②実施	一般	700,415	—	690,200	1.2	0.2	①指定管理施設における利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.4% ②100%	①98.5% ②99.3%	①98.6% ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①97.6% ②100%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。
スポーツ振興課	149	総合運動場管理運営事業	H 18 -	市(委託)	スポーツ、レクリエーション、文化活動等のための施設を提供する。 施設の維持管理を行うとともに、市民向けに様々なスポーツ等教室を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件(体育館含む) ②実施	一般	421,109	—	419,526	2.0	0.1	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①99.3% ②99.5%	①98.8% ②98.6%	①98.3% ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①98.6% ②93.1%	①S ②A	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。
スポーツ振興課	150	日本平運動公園管理事業	S 61 -	市(委託)	プロサッカー等の開催によるスポーツ振興及び市民の健康増進を図る。 施設管理を行うとともに、リーグ及び各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	一般	298,694	—	297,075	0.3	0.1	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98.9% ②99.0%	①— ②95.9%	①— ②83.1%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①96.1% ②99.2%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。
スポーツ振興課	151	清水ナショナルセンター管理運営事業	H 13 -	市(委託)	サッカー等、国内外のトップアスリートの利用に供するとともに、スポーツ振興及び市民の健康増進を図る。 施設管理を行うとともに、各種事業を開催する。	①施設管理者である指定管理者との協定締結件数、年度評価件数 ②計画修繕の実施	①2件 ②実施	①2件 ②実施	一般	241,154	—	240,462	0.3	0.1	①利用者満足度 ②計画修繕に係る予算執行率	①90% ②90%	①98% ②100%	①— ②100%	①— ②100%	①協定締結時の仕様書上の目標値90%を目標値として設定した。 ②安心安全な利用ができるよう計画修繕に係る予算執行率を目標値として設定した。(契約差金等考慮)	①97.3% ②98.6%	①S ②S	A	利用者満足度及び予算執行率とも目標値を達成し、新型コロナウイルス感染症対策の実施とともに必要な協定及び修繕について計画通り実施できたため。	引き続き、指定管理者との連携による計画修繕を実施するとともに、適切に管理された施設において各種事業を開催し、利用者満足度の高い数値を維持していく。

① 所属 部署名	② 事務事業名	③ 期間	事業概要(全体)			活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
			④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費		⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)					⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
						指標名	当年度 の目標値	実績値	合計	予算額 (千円)	前年度 からの 繰越額 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	会計 年度 常勤 職員 (人)	指標名	当年度 の目標値				直近3か年の実績値			実績値	達成 度	
																				R3	R2	R1			当年度の目標値の算出根拠
152	国際大会等スポーツ競技大会出場報奨金	H22 -	補助等(交付先)	国際大会等に出場する栄誉を讃え、市のスポーツ振興及びスポーツ活動に対する意識高揚を図る。	国際大会等に出場するスポーツ選手が所属するスポーツ団体等に対し、報奨金を交付する。	①スポーツ協会加盟団体への申請事務説明会の円滑な実施 ②報奨金交付に係る事務処理の円滑な実施	①実施 ②実施	一般	1,650	—	242	0.2	0.0	交付件数	22件	2件	0件	25件	実施した過去3年間(H30、R1、R3)の平均値を目標値として設定した。	17件	B	A	・申請のあった報奨金について、適正に交付完了(交付漏れ0件)したため。	引き続き、学校・競技団体へ制度の周知を行う。申請のあった報奨金について、適正に報奨金を交付する。	
153	各種目別全国大会出場選手補助金	H16 -	補助等(交付先)	スポーツ選手を育成及びスポーツ団体等によるスポーツ活動を支援し、スポーツの振興を図る。	市を代表して全国的な規模及び水準で開催されるスポーツ大会に出場するスポーツ選手が所属するスポーツ団体等に対し、補助金を交付する。	①スポーツ協会加盟団体への申請事務説明会の円滑な実施 ②補助金交付に係る事務処理の円滑な実施	①実施 ②実施	一般	7,540	—	6,911	0.2	0.0	交付件数	99件	123件	38件	136件	実施した過去3年間(R1～R3)の平均値を目標値として設定した。	169	S	A	・申請のあった補助金について、適正に交付完了(交付漏れ0件)したため。	引き続き、学校・競技団体へ制度の周知を行う。申請のあった補助金について、適正に補助金を交付する。	
154	スポーツ推進審議会事業	-	市(直営)	静岡市スポーツ推進計画に基づき、市民のスポーツ推進を図る。	スポーツ基本法第31条の規定に基づき、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。	①審議会の開催 ②会議録の作成及び公表	①4回 ②4回	一般	603	—	541	0.4	0.0	諮問に対する答申書の提出	諮問に対する意見の検討	実施	諮問に対する意見の検討	実施	審議会委員は2年を任期とし、市教育委員会の諮問を受け、審議内容を答申書としてまとめている。	実施	A	A	・計画を超える回数で審議会を開催したため。 ・予定を繰り上げ、答申書の提出をR4年度中に実施したため。	・新たに受ける市教育委員会からの諮問に対し、答申に向けて審議する。	
155	スポーツ推進委員関連事業	H16 -	市(直営)	スポーツ推進委員が地域で活動することにより、市の掲げる目標である「市民一人1スポーツ」を推進する。	・委員報酬の支払い・連絡協議会への補助金交付 ・ニュースポーツイベントの開催 ・推進委員向け研修会の受講促進	①研修会の円滑な開催 ②ニュースポーツ普及イベントが円滑に実施できるよう支援	①2回 ②14回	①1回 ②12回	一般	19,623	—	17,271	1.4	0.0	参加者数 ①チャレンジ！スポーツラリー(1回) ②チャレンジ！スポーツDAY(4回) ③ニュースポーツ交流大会(9回)	①115人 ②229人 ③643人	①中止 ②125人 ③67人	①115人 ②332人 ③1218人	①中止 ②延べ332人 ③1218人	実施した過去3年間(R1～R3)の平均値を目標値として設定した。	①468 ②213 ③655	①S ②A ③A	A	・チャレンジ！スポーツ・ラリーは、令和5年2月に開催し、目標値を大きく上回る参加者数を達成することができた。 ・そのほかの事業は、一部中止になったものの、多くの事業を開催することができた。しかし、従来からの自由参加型から事前予約制で開催したこともあり、目標値を下回った。	・イベント及びスポーツ推進委員の認知度を増やすために、広報活動の工夫をしていく。 ・スポーツ推進委員を中心に地域での普及事業にも力を入れていく必要がある。 ・運営方法やルールの徹底、新種目の導入など、課題に対して推進委員同士の連携を図って改善していく。
156	葵区民体育大会 駿河区民体育大会	H15 -	市(直営)	「市民一人1スポーツ」を具現化する場として、「いつでも、どこでも、誰でも、気軽に」をスローガンに見て楽しい、やって楽しい、支えて楽しい体育大会を通じて、各区を元気にする。	7月から10月の間に、ニュースポーツの部4回(葵2・駿河2)と「大運動会」2回(葵1・駿河1)を実施する。	①実行委員会の円滑な開催 ②運営委員会の円滑な開催 ③各大会の円滑な開催	①2回 ②8回 ③6回	①2回 ②7回 ③3回	一般	3,756	—	1,075	0.6	0.0	①葵区民体育大会 ②駿河区民体育大会	①4,290人 ②1,944人	①213人 ②56人	①3,915人 ②167人	ニュースポーツ2種目は葵区390人、駿河区で144人の参加目標とした。「大運動会」は各学区、地区で100名規模の大会を目標としたことから、葵区3,900人駿河区1,800人として算出した。	①292 ②70	①C ②C	A	葵区「大運動会」は新型コロナウイルス感染症の影響により、駿河区「大運動会」「スカイクロス」は雨天により中止となった。しかし、葵、駿河区計3種目のニュースポーツの部について、感染症対策を講じた上で開催することができた。	・新型コロナウイルス等の影響で過去3～4年大会の開催ができておらず、各学区の参加者が減少傾向にある。また、運営方法を知る委員が減少しているため、魅力ある新種目の発掘や各種目のルールや運営方法の周知等、委員の資質向上を図る必要がある。	
157	総合型地域スポーツクラブ推進事業	H22 -	市(直営)	総合型地域スポーツクラブの市民への周知及びクラブ間の交流、クラブ間の企画力、運営力の向上を図る。	総合型地域スポーツクラブによる連絡会、スポーツ体験型合同イベントを開催する。	①地域スポーツクラブ連絡会議の円滑な開催 ②運営の補助および、合同イベントの円滑な開催	①2回 ②実施	①0回 ②実施	一般	592	—	314	0.2	0.0	合同イベントの参加者数	延べ1,215人	中止	中止	延べ1,387人	当イベントは、各区持ちまわりの開催としている。参加人数は過去3年間(H29～R1)の平均値を目標値として設定した。	351人	C	B	令和元年度以来3年振りに開催することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加を見合わせた団体があつたことや、感染リスク回避のためのイベントの参加控えにより、参加者数が少なかった。	総合型スポーツクラブの活動内容や活動理念を多くの市民に伝え、認知度の向上を図るとともに、各クラブと協議しながらイベントを改善・充実させていく。
158	各種スポーツ教室	-	市(直営)	競技人口の拡大と各種目の競技力向上及び、「市民一人1スポーツ」の推進を図る。	幼児や小学生または、初心者を対象としたスポーツ教室を開催する。	①教室の円滑な開催(初心者) ②教室の円滑な開催(クラミング) ③教室の円滑な開催(走り方教室)	①5教室 ②2期 ③12回	①6教室(全9回) ③18回	一般	1,375	—	949	0.5	0.0	①初心者スポーツ教室の参加者数 ②クラミング教室の参加者数 ③走り方教室の参加者数	①延べ720人 ②216人 ③417人	①96人 ②97人 ③370人	①89人 ②中止 ③360人	①各種目の定員の合計を目標とした。 ②定員×教室数を目標とした。 ③過去3年間の平均値を目標とした。	①487人 ②93人 ③770人	①C ②C ③S	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は減少しているものの、実施回数等は目標値を上回り、各教室への参加機会を提供した。	①②参加者数が定員に対し少ない教室について、教室の内容や周知方法の見直しを行う。 ③児童や担当者からの評価が高い為、新規の学校を増やして子どものスポーツ実施率を高める。	

① 新事業名	② 事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)					成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
		③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費					⑨ 成果指標(アウトカム指標)					⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容			
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度	
																	R3	R2						R1
スポーツ振興課	指導者向け講習会	S 55 -	市(直営・委託)	各分野の専門講座を開き、指導者が正しい知識と指導法を習得するための学習の場を提供することで、指導者の育成と資質向上を図る。	大学教授や医師、インストラクター等を招いて基本的な指導法の習得を図るための講習会を開催する。	①スキルアップ講習会の開催 ②学校プール監視員講習会の円滑な開催	①6回 ②実施	①6回 ②実施	一般	67	—	45	0.3	0.0	参加者数 ①スポーツ指導者スキルアップ講習会 ②学校プール監視員講習会	①180人 ②132人	①97人 ②96人	①延べ121人 ②169人	①延べ121人 ②169人	①200人 ②150人	①S ②S	A	計画通り開催することができ、参加者数が目標を上回った。	参加者からの満足度は高いため、より参加者が増えるよう周知方法を工夫する。
スポーツ振興課	スポーツ親善交流事業	S 59 -	市(直営)	旧清水市からの友好都市である佐久市との交流を深めるため相互に両市を訪問し、スポーツ交流を行う。	毎年交互に両市を訪問し、少年野球・婦人バレーの3種目でスポーツ交流を行う。	①参加団体への説明会の円滑な開催 ②交流大会の円滑な開催	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	354	—	354	0.2	0.0	交流事業参加者数	100人	中止	中止	中止	140人	S	A	計画通り開催することができ、参加者数は目標を大きく上回った。	両市が開催しやすく、参加者が参加しやすい時期に大会を開催する。佐久市開催において、選手が参加しやすい条件を検討する。
スポーツ振興課	学校等体育施設利用事業	-	市・補助等(直営・交付先)	学校施設を利用することで、地域住民のスポーツ活動への参加機会を創出し、地域のスポーツ活動を推進する。	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	①事務担当者説明会の円滑な開催 ②夜間照明施設の小規模修繕の実施	①実施 ②適宜	①未実施 ②実施	一般	69,011	—	66,142	0.9	1.0	①利用件数 ②利用者数	①78,151件 ②1,724,704人	①79,448件 ②1,687,568人	①71,171件 ②1,569,032人	①83,834件 ②1,917,514人	①83,879件 ②1,849,563人	①S ②S	A	利用件数及び利用者数とも目標値を上回り、多くの市民が利用できたため。	中心部の学校の利用は飽和状態にあるため、近隣や山間部の協議会との連携を促し、多くの市民が利用できるようにする。
スポーツ振興課	静岡市民大会等開催業務	H 29 -	市(委託)	各種市民大会等を開催することにより、市民のスポーツ実施の機会創出と健康づくりを促し、“市民1人1スポーツ”の推進と競技力の向上を図る。	各競技団体を主管として各種別大会やラジオ体操祭を開催する。(H15から事業実施、H29から委託)	①適切な委託事務の実施 ②実施大会の効果的な広報の実施 ③参加者を増やすためのスポーツ協会との打合せの実施	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	一般	9,300	—	7,922	0.3	0.0	①各種市民大会開催競技団体数 ②各種市民大会参加者数 ③ラジオ体操祭参加者数	①31団体 ②48,000人 ③2,600人	①21団体 ②23,949人 ③中止	①18団体 ②25,064人 ③中止	①31団体 ②39,531人 ③1,378人	①25団体 ②21,583人 ③454人	①B ②C ③C	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた大会回数を実施できなかったため、延べ参加者数が減少した。また、ラジオ体操祭については当日の天候が悪い中、実施したため、当初予定の参加者数に至らなかった。	より多くの市民に参加していただろう。周知の仕方や内容を検討していく。
スポーツ振興課	市スポーツ協会補助金	H 18 -	補助等(交付先)	(公財)静岡市スポーツ協会の普及・振興を図るための事業実施を支援する。	(公財)静岡市スポーツ協会へ補助金を交付し、スポーツの普及・振興を図るための事業を実施する。	①補助金交付事務の円滑な実施 ②参加者を増やすためのスポーツ協会との打合せの実施	①実施 ②適宜	①実施 ②適宜	一般	16,512	—	16,512	0.2	0.0	参加者数 ①スポーツ協会ウォーキング ②スポーツ講演会	①67人 ②224人	①中止 ②154人	①中止 ②161人	①127人 ②359人	①74人 ②181人	①S ②B	A	計画通り開催することができ、参加者数が概ね目標を達成できた。	スポーツ協会と連携し、参加したくなる魅力的なウォーキングコース、講演会講師・講演内容について検討していく。
スポーツ振興課	清水区連合体育会補助金	-	補助等(交付先)	補助金交付により、地区の体育大会や各種スポーツ大会を開催し、より多くの市民がスポーツに参加できるようにする。	清水区民体育大会、各地区運動会、各種スポーツ大会を開催するため、清水区連合体育会に補助金を交付する。	①補助金交付事務処理の円滑な実施 ②清水区民体育大会の円滑な開催 ③その他8つの事業の円滑な開催(グラウンドゴルフ、婦人バレーほか)	①実施 ②実施 ③8回	①実施 ②中止 ③6回	一般	4,376	—	4,376	0.1	0.0	参加者数 ①清水区民体育大会 ②その他8つの事業(グラウンドゴルフ、婦人バレーほか)	①3,400人 ②1,719人	①中止 ②523人	①中止 ②中止	①台風のため未実施 ②1,574人	①中止 ②1,089人	①-C ②C	A	台風15号の影響により、清水区民体育大会が中止となり、その他競技についても台風15号により参加できない地区があったため、目標値を達成することができなかったものの、感染症対策を実施しながら予定どおり各事業を実施した。	コロナ禍を経て、市民のスポーツ参加に対する意識が変化し、イベント参加者数の減少が危惧される。市民が参加しやすい条件、種目等について、連体、スポーツ推進委員と連携し、協議していく。
スポーツ振興課	葵区及び駿河区地域スポーツ振興事業補助金	S 58 -	補助等(交付先)	地域のスポーツ活動を支援し、スポーツ振興を図るために運動会等を開催する葵区及び駿河区の小学校区の自治会連合会に対して補助金を交付する。	地域のスポーツ活動を支援し、スポーツ振興を図るために運動会等を開催する葵区及び駿河区の小学校区の自治会連合会に対して補助金を交付する。	①補助金交付事務処理の円滑な実施 ②学区体育行事年間計画書、報告書の集計	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	3,000	—	866	0.2	0.0	スポーツ振興事業実施事業数	137事業	67事業	53事業	290事業	184事業	S	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地区で事業が中止となり事業数が減少したが、実施された事業への補助は適正に執行できたため。	地域のスポーツ活動が活性化し、より多くの市民が参加するよう、更なる制度の周知を図る。



① 所属名	No.	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
		② 事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 成果指標(アウトカム指標)						⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
							指標名	当年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度当分の員(人)	指標名	当年度の目標値	直近3か年の実績値					実績値	達成度		
																		R3	R2						R1	当年度の目標値の算出根拠
スポーツ振興課	166	高等学校野球大会補助金	H 3 -	補助等(交付先)	市内高校のチーム間の交流を通して、一層の競技力向上を図る。	市内17校によるトーナメント戦を開催するため、実行委員会に対して補助金を交付する。	①補助金交付事務処理の円滑な実施 ②実行委員会の円滑な開催 ③大会の円滑な開催、運営の補助	①実施 ②実施 ③実施	一般	1,100	—	965	0.4	0.0	高校野球春季大会県大会における市内高校出場数	5校以上	0校	7校	春季大会県大会へは、中部地区全32校から8校が出場することができる。市内には17校あるため、中部地区における市内高校の割合を求め、5校以上と算出した。	7校	S	A	春季大会県大会へ、市内チームが7校出場。目標を上回ったため。	本大会も来年度で20回を迎える。当該事業について、効果検証し、実施可否を検討する。		
スポーツ振興課	167	静岡県市町対抗駅伝競走大会選手強化事業補助金	-	補助等(交付先)	静岡市の市民意識の高揚、市民スポーツの振興を図ると同時に長距離選手の発掘育成を行う。	本市代表チームの選手選考、強化を行うため、静岡県陸上競技協会に補助金を交付する。	①事務処理の円滑な実施 ②担当者説明会への出席回数	①実施 ②2回	一般	1,895	—	1,895	0.3	0.0	参加チームの記録	静岡:2時間15分43秒以内 清水:2時間19分04秒以内 静岡:2時間18分16秒(11位) 清水:2時間16分16秒(5位) 静岡:2時間15分45秒(7位) 清水:2時間20分02秒(12位) 静岡:2時間12分22秒(2位) 清水:2時間20分02秒(16位)	静岡:2時間13分08秒(4位) 清水:2時間20分55秒(14位)	過去3年間(R1~R3)の平均値を目標値として設定した。(順位は参考)	静岡:2時間13分08秒(4位) 清水:2時間20分55秒(14位)	A	A	清水チームは目標値を下回ったものの、静岡チームは目標値を上回る結果となったが、選考会の実施等については予定どおり実施できた。	毎年、各年代でレベルの高い選手を選出できるように、競技力向上が不可欠である。現状では好成績を残しているが、今後、全体的な陸上競技人口減少(特に長距離)や、レベルの低下が心配されるため、競技人口増加及び競技力向上の方法について市陸協と連携し、検討を行う必要がある。			
スポーツ交流課	168	スポーツを通じた青少年国際交流事業	H 30 -	市(直営・委託)	台湾との青少年交流を通じて相互理解と友好を深め、広い国際的視野を持った青少年(次世代リーダー)を育成する。また、スポーツを契機に異文化への理解促進を図り、台湾との交流の架け橋を担う次世代の人材を育成する。	台湾高校生及び圏域高校生のスポーツを通じた相互派遣を実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により相互派遣が中止となる場合は、代替えとなるスポーツを通じた青少年国際交流事業を実施する	①相互派遣事業の実施 ②事務処理の円滑な実施	①実施 ②実施	一般	8,061	0	1,424	0.2	0.0	①台湾高校生の受入 ②圏域高校生の派遣	①1回 ②1回	①— ②—	①— ②—	①1回 ②1回	直近3か年の実績から算出した。	①— ②—	B	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生の派遣・受入を中止とした。相互派遣の代替え事業として、令和5年2月18日に圏域高校生と台湾陸上選手との陸上オンラインクリニックを実施した。目標値の相互派遣を1回ずつはできなかったが、代替え事業を実施できたため、B評価とした。	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなっている中で、間接的に行うオンラインクリニックではなく、直接的な交流の実施に向けて、相手方との内容等の調整をより密にしていこう。	
スポーツ交流課	169	スポーツ合宿等誘致事業	H 27 -	市(直営)	主に国内競技団体を対象として、合宿や大会の誘致活動を行うとともに受入れ時に支援をすることにより、継続的な合宿等の受入れを目指すとともに、本市のプレゼンスの向上、地域経済の活性化を図る。	国内競技団体への合宿誘致活動及び合宿受入	誘致活動実施	3件	3件	一般	280	0	67	0.2	0.0	国内代表クラスの合宿受入件数	3件	3件	2件	3件	直近3か年間の実績値の平均を目標値とした。	1件	C	C	各種競技団体に対して、市内の施設の紹介を行ったが、ウエイリフティング男子ナショナルチームの代表合宿の受入1件となり、目標値を大きく下回ったため、C評価とした。	過去に合宿を行っている競技団体に対し、再度合宿を行ってもらうように、誘致活動を行うとともに、実績のない競技団体にも市の施設を紹介することを行う。
スポーツ交流課	170	台湾スポーツ交流事業	H 26 -	市(直営)	スポーツをはじめとした交流の推進やシティセールスにより、本市と台湾との交流人口の拡大を図るとともに、新たなスポーツ交流を通じて、選手の競技力や指導者の資質向上及び、国際感覚豊かな人材育成を図る。	①台北市との新たなスポーツ交流事業の実施 ②台湾関係者との協議、調整等の実施	①台北市とのバスケットボール指導者交流の実施 ②今後の台湾との交流事業の内容確認実施	①実施 ②実施	一般	3,019	0	886	0.2	0.0	①台北市との指導者の派遣・受入の件数 ②台湾関係者と交流に係る協議等の実施	①各1回 ②1回	①— ②—	①— ②—	①— ②—	①台北市との事前打ち合わせに基づき、台北市への指導者派遣を1回、台北市からの指導者受入を1回実施することを目標値とした。 ②コロナ禍の中で訪台し、台湾関係者との交流に係る協議を1回実施することを目標値とした。	①— ②1回	B	B	①新型コロナウイルス感染症の影響により、指導者の派遣・受入が中止となった。代替え事業として、台北市と静岡市のバスケットボール指導者がオンラインで意見交換を実施し、今後の交流について検討を行った。 ②台北マラソンに合わせ、訪台し、台湾関係者との協議を実施した。①については、当初の予定通りの交流はできなかったが、代替え事業が実施できた。また、②については、予定通り実施ができたため、B評価とした。	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなっている中で、対面による直接的な交流の実施に向けて、相手方との内容等の調整をより密にしていこう。	

① 所属 課名	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など							
	② 事務事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費		⑨ 人工		⑩ 成果指標(アウトカム指標)						⑪ 評価	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容						
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	非正職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値				当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度			
スポーツ交流課	176	静岡野球ウィーク開催事業補助金	H 31 -	補助等(交付先)	静岡野球ウィークを支援することにより、野球を通じて静岡市のアレーセンスの向上及びスポーツツーリズムの推進並びに市民の野球熱の向上を図る。	①開催に伴う関係機関との調整 ②当該団体への補助金の交付	①補助金交付に係る事務処理の円滑な実施 ②団体の運営支援	①実施 ②実施	一般	5,000	0	4,124	0.1	0.0	市内宿泊者数	延べ2,500人	延べ2,456人	-	-	令和3年度に実施した第2回及び第3回野球ウィークにおける市内宿泊者の平均値が2,456人であったことを踏まえ、2,500人を目標値とした。	3,139人	S	S	②台北マラソンに合わせ、訪台し、台湾関係者との協議を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響が少なく、保護者等の宿泊も増加となった。今後は、宿泊する保護者等に対して、市内の観光施設を紹介する等、試合観戦以外のPRを検討する。	
スポーツ交流課	176	パラバドミントンサポートシティ推進事業	R 3 -	市(直営)	パラバドミントンに関する各種事業を通じて、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整え、市民の障がいや障がい者への理解促進や市民一人1スポーツの推進を図る。	パラバドミントンに関する事業を実施する。	①パラバドミントン体験教室の実施 ②パラバドミントン交流会の実施 ③パラバドミントン全国大会の開催	①5校 ②実施 ③実施	一般	1,099	0	1,038	0.2	0.1	講座実施校における障がいに対する理解の割合	80%	79%	-	-	令和3年度実施した5校では、体験前の障がいに対する理解度が82%から体験後には79%となったため、今年度も昨年度の実績に合わせ80%の目標値とした。	71%	B	B	①については、当初の予定通りの交流はできなかったが、代替事業が実施できた。また、②については、予定通り実施ができたため、B評価とした。	目標値に対しては低い結果となっているが、実施した学校に対する理解度は増加している。さらなる増加のためには、講師から、より障がいについての話をしてもらうように、講話の内容を検討する。	
スポーツ交流課	176	静岡マラソン再開支援事業	R 4 -	市(直営)	静岡マラソンは、本市が掲げる「市民一人1スポーツを推進するための「観る・する・支える」を体現できるものであり、大会が継続されるよう支援する。	令和5年度の開催を目指し、公民連携の大会となるよう支援する。	大会再開に向けた支援実施	実施	実施	一般	740	0	175	0.2	0.0	大会開催に向けた関係者との協議回数	12回	-	-	大会開催に向けて関係者と毎月1回の打ち合わせの実施を目標値とした。	14回	S	S	目標値に対して、116%増の14回の協議を達成したためS評価とした。	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってくる中で、大会開催に向けた関係者との内容等の調整をより密に行っていく。	
スポーツ交流課	176	フオッサ・サッカーのまち市民協議会補助金	H 7 -	補助等(市・交付先)	ホームタウンチームを活かしたまちづくりを官民連携して推進する「フオッサ・サッカーのまち市民協議会」の活動を支援する。	同協議会への補助金の交付(オレンジスポーツフィールド、ホームタウンチームPR事業、サッカー日本代表応援事業等)	①補助金交付事務の実施 ②補助対象事業の実施支援	①実施 ②実施	一般	1,455	0	1,455	0.4	0.1	①エスパルスを応援し、興味・関心を抱いている市民の割合 ②ベルテックスを知っている市民の割合	①75% ②70%	①65% ②67%	①63% ②55%	①73% ②51%	①新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった令和元年度実績と同等の数字を目標値とした。 ②過去の実績を踏まえ、令和3年度よりも高い数値を目標値とした。	①66% ②74%	①B ②S	B	各種事業は概ね予定通り実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、チームと市民との交流の場が少なく、チームへの応援機運を高めることができなかった。	チームと市民の効果的な交流の場を増やすため、オレンジスポーツフィールドの会場やコンテンツ、告知方法等を同協議会とともに見直す。	
スポーツ交流課	176	清水エスパルス活用・応援機運醸成事業	H 28 -	市(直営・委託)	市民が、本市の心の公共財である清水エスパルスを応援する機運を醸成する。	①事業・イベント等への選手・マスコット等の派遣 ②エスパルス応援横断幕の作成、グッズの購入等 ③日本平運動公園球技場ホーミングサインパートナーシップ契約更新事務	①エスパルス選手等の派遣 ②作成・購入物品の活用 ③契約事務の実施	①10回 ②15回 ③実施	①8回 ②9回 ③実施	一般	1,000	0	880	0.2	0.3	エスパルスを応援し、興味・関心を抱いている市民の割合	75%	65%	63%	73%	新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった令和元年度実績と同等の数字を目標値とした。	70%	B	B	各種事業は概ね予定通り実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、チームと市民との交流の場が少なく、チームへの応援機運を高めることができなかった。	指標の実績値をコロナ禍以前の状態に回復できるよう、市民とチームとの接点を増やす必要がある。そのため、市民の応援機運醸成に、より高い効果が期待できる事業、イベントに選手等を派遣できるよう、庁内各課への声掛けなどを積極的に行う。
スポーツ交流課	176	野球を活かしたまちづくり推進事業	H 25 -	補助等(市・交付先)	市民野球熱の醸成を図り、野球を活かした地域活性化を推進する。	①楽天イーグルス市民交流事業の開催 ②プロ野球オープン戦開催支援 ③アドバイザー業務委託の実施	①楽天市民交流事業の実施 ②オープン戦告知活動の実施 ③アドバイザー業務委託の実施	①実施 ②実施 ③実施	一般	7,000	0	2,000	1.0	0.0	①楽天未来塾に参加により、野球へ興味を持った参加児童の割合 ②プロ野球オープン戦(土、日)の来場者数	①85% ②16,000人	①75% 13,161人	①- ②7,590人	①81% ②無観客試合	①新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった令和元年度実績と同等の数字を目標値とした。 ②現状値及び新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、1試合8,000人(2試合計16,000人)の来場を目指す。	①65% ②13,094人	①B ②B	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、①楽天未来塾は、実施方法に制限があり、野球へ関心を持たなかった児童の割合が目標を下回った。また、②プロ野球オープン戦においては、従前実施していた子ども向けのイベントを実施できなかったことから目標値を下回った。	野球によるまちづくりを進めるため、より多くの市民が野球の魅力に触れることができる事業の実施を検討していく。また、オープン戦開催時の子ども向けイベントの開催に合わせ市民へのPRを実施していく。令和5年2月に、清水原球場のプロ野球本拠地を推進し、プロ野球地元元球団の創設を目指していく。	

① 所属名	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)					評価及び次年度以降に向けた課題・改善など						
	② 事業事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 成果指標(アウトカム指標)					⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容				
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値				実績値	達成度		
																	R3						R2	R1
当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度						
スポーツ交流課	177 清水エスバルス交流事業補助金	H 8 ~	補助等(市・交付先)	清水エスバルスが実施する、青少年育成や地域交流を推進する各種事業を支援する。	㈱エスバルスへの補助金の交付(区民デー、ホームゲーム小中学生招待、巡回スポーツ教室の開催支援)	①補助金交付事務の実施 ②補助対象事業の実施支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	4,500	0	4,500	0.3	0.1	①各区民デー参加者数 ②小中学生招待者数 ③巡回スポーツ教室参加園数	① 2,100人 ② 1,062人 ③ 1,100人 ④ 125園	①— ②535人 ③121園 ④128園	①— ②859人 ③128園	① 1,686人 ② 2,909人 ③ 128園	①B ②B ③A	①は対象試合3試合のうち1試合、②は対象試合2試合とも雨天となり、当選者の来場率が下がったため、目標値を下回った。また、③巡回スポーツ教室は、子ども園の申込みがコロナ禍以前に戻り、目標値を上回った。	①地域交流応援事業の実施方法を見直す。 ②小中学生招待事業は、PRの時期や周知方法をエスバルスと協議していく。 ③巡回スポーツ教室は、継続実施していくためにできる限り実施期間を長くできるよう申込みを早期にしている。		
スポーツ交流課	178 大学野球オータムフレッシュリーグin静岡開催事業補助金	H 30 ~	補助等(交付先)	野球を通じた交流人口の増加及び参加者・関係者の交流を促進し、野球を活かしたまちづくりを推進する。	毎年11月に開催される「大学野球オータムフレッシュリーグin静岡」の主催者である実行委員会への補助金交付	①補助金交付に係る事務処理の円滑な実施 ②実行委員会の運営支援	①実施 ②実施	①実施 ②実施	一般	2,000	0	2,000	0.2	0.0	①大会に満足した来場者の割合 ②市外からの来場者の割合 ③来場者数	①85% ②57% ③7,000人	①80% ②50% ③3,480人	①75% ②50% ③1,975人	①— ②56.5% ③4,234人	①71% ②61% ③3,200人	①B ②S ③C	新たにフリーペーパーでの情報発信や高校生とのコラボイベントを実施し、来場者数増加のための創意工夫をしたが、雨だったことや新型コロナウイルス感染症の影響で急遽参加校の辞退や小学生向けイベントが開催できなかったことにより来場者が伸び悩み、目標を下回った。	より多くの市民が地域資源である野球に触れられるよう、大会を円滑に開催する。また、参加大学の学生有志による企画ゲームが大会運営を担っているため、学生が入れ替わっても、前回大会までのノウハウをいかに継承していくかが課題であるため、実行委員会と連携をとり、大会の安定的運営に協力していく。	
スポーツ交流課	179 清水エスバルスアウェイゲームパブリックビューイング開催事業	H 29 ~	市(直営・委託)	市民が清水エスバルスに触れる機会、観戦する機会をより多く創出する。	清水エスバルスアウェイゲームパブリックビューイングの開催	①委託契約事務の実施 ②パブリックビューイングの開催	①実施 ②1回	①実施 ②1回	一般	2,607	0	2,607	0.2	0.0	①延べ来場者数 ②パブリックビューイングに満足した来場者の割合	① 1,000人 ②90%	①617人 ②84%	①972人 ②80%	① 4,900人 ②90%	① 2,038人 ②82%	①S ②A	対象試合が11残留を懸けたシーズン最終戦で注目度が高かったこともあり、多くの来場があった。	会場のキャパシティに対し、快適性・安全性を考慮した収容人数を設定する必要がある。その上で、来場者数を確保するための効果的な情報発信と試合観戦以外にも楽しめるコンテンツの導入を検討する。	
スポーツ交流課	180 サッカーを活かしたまちづくり推進事業	H 16 ~	市(直営・委託)	本市の地域資源であるサッカーを活かし、地域の賑わいを創出や子どもの健全育成及び、施策推進に向けた関係者との連携強化等を図る。	①JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催 ②日本サッカーを応援する自治体連盟等、関係各者との連携 ③エスバルス教育サポート事業「エスバルスの授業実施支援」 ④エスバルスホームタウンコーナーの設置 ⑤サッカーのまち啓発「オレンジバナー」の掲出 ⑥各種サッカー大会開催支援	①「夢の教室」開催 ②日本サッカー応援自治体連盟開連会議への参加 ③授業の実施 ④各区へのホームタウンコーナー設置 ⑤オレンジバナーの掲出 ⑥支援する大会	①7クラス ②2回 ③10回 ④実施 ⑤8箇所 ⑥3大会	①10クラス ②2回 ③15回 ④実施 ⑤8箇所 ⑥3大会	一般	2,059	0	1,248	0.5	0.5	サッカーのまちである本市に愛着を抱く市民の割合	70% 56% 55% 68%	58%	58%	58%	B B	全国少年少女草サッカー大会が中止になったこと等市民がサッカーに触れる機会がコロナ禍以前まで回復していないが、各種事業を中止することなくオンライン開催に切りかえるなど、臨機応変に対応したことで、ある程度目標を達成することができた。	新型コロナウイルス感染症の取扱いが5類に移行したことを踏まえ、各事業をアフターコロナの社会状況に対応し、適切に実施する。		

① 所属名	② 事業種別	事業概要(全体)				活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)						評価及び次年度以降に向けた課題・改善など								
		③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費		⑨ 人工	⑩ 成果指標(アウトカム指標)						⑪ 評価	⑫ 評価理由	⑬ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容							
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)		前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	直近3か年の実績値	当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度				R3	R2	R1				
																								当年度	前年度	前年度からの繰越額	当該年度の目標値
スポーツ交流課	181	ホームタウンチーム活用推進事業	R 3 -	市(直営・委託)	清水エスパルスをはじめとするホームタウンチームの発信力・求心力を活かし、スポーツの力で地域の課題解決を推進する。	ホームタウンチームのホームゲームで本市地域資源のPRを実施する。また、清水エスパルスのスクールコーチによるスポーツ体験教室を開催する。	①啓発品の配布 ②PRイベントの実施 ③教室の開催	①2試合 ②1回 ③12回	①2試合 ②2回 ③12回	一般	7,223	0	7,223	0.2	0.0	①エスパルスを応援し、興味・関心を抱いている市民の割合 ②ベルテックスを知っている市民の割合	①75% ②70%	①65% ②67%	①63% ②55%	①73% ②51%	①66% ②74%	①B ②S	B	市の各種事業は概ね予定通り実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、広くホームタウンチームの事業が実施できないものもあったため、チームへの応援機運を高めることができなかった。	魅力的なホームゲームイベントを検討し、より多くのファンの来場を促す。また、幅広い世代が参加できるスポーツ体験教室の企画を検討し、エスパルスを通じて体を動かすきっかけを提供する。このような活動を通じて、ホームタウンチームへの応援機運を高める。		
	182	日本平動物園運営委員会	S 44 -	市(直営)	動物園、遊戯施設、駐車場及びその他の施設を適正かつ効率、効果的に運営するにあたり、広く市民の意見を反映させるため、調査・審議を行う。	運営委員会を開催し、日本平動物園の運営に係る案件の審議を行う。	運営委員会開催数	2回	2回	一般	138	—	92	0.2	0.0	①委員会への付議件数 ②委員会からの審議結果への対応	①3件 ②実施	①3件 ②実施	①3件 ②実施	①3件 ②—	①3件 ②実施	①A ②A	A	計画どおり会議を実施し、審議案件数について、目標値を達成した。また、委員からの意見等に対して、改善実施、検討を行った。	当園の運営に関する必要案件について、引き続き踏っていく。女性委員登用割合向上のため、次期改選期に働きかけを強化する。		
	183	動物園管理運営事業	S 44 -	市(直営・委託)	適切な管理・運営の下、観光の拠点施設として、来園者数の増加及び利用者満足度の向上を図る。	①来園者増加に向けた広報事業 ②年間を通じた多彩なイベント開催 ③来園者への安全な施設の提供	①広報活動(報道提供等の情報発信)の実施件数 ②動物園イベントの実施件数 ③施設の定期的な点検と修繕	①180回 ②70回 ③実施	①188件 ②160回 ③実施	一般	462,000	420,997	372,149	509,537	90.2%	96.0%	88.0%	86.7%	①来園者数の回復傾向が見込まれるため、R3年度の来園者数の約1割増とした。 ②過去3か年の平均値より算出した。 ③飼育動物の管理や園施設の定期点検等を実施し、来園者の安全を確保するため事故発生0件と設定した。	①462.0人 ②7人 ③0件	①420.997人 ②7人 ③0件	①372.149人 ②7人 ③2件	①509.537人 ②9人 ③1件	①450.862人 ②2人 ③0件	①A ②S ③A	A	来園者数は目標値よりやや低いものの期待どおりの結果であった。また、アンケートによる来園者満足度調査では目標値及び前年度実績をともに上回った。そして、事故発生件数は0であったため、全体として期待どおりの結果であった。
184	教育普及事業	S 44 -	市(直営)	情操教育や環境教育の拠点として、「動物を理解し、愛情と思いやりをもって生活し、それを次世代に伝えていける人」を育成する。	動物などを通じての教育普及活動	幼児動物教室の実施回数	120回	141回	一般	558,697	—	513,201	31.8	10.0	アンケートによる幼児動物教室の理解度(「とても分かりやすかった」、「分かりやすかった」の合計割合)	90%	89.0%	88.4%	—	92.1%	①A	A	幼児動物教室の参加者の理解度が、目標値をやや上回り期待どおりの結果であった。	幼児動物教室の充実と更なる満足度の向上のため、ニーズにあった教育事業となるよう適時見直しを図っていく。			
185	種の保存事業	S 44 -	市(直営)	動物の行動や環境エンリッチメント等の研究を行い、希少動物種の繁殖を図る。	希少動物種の繁殖推進 ※希少動物:IUCN(国際自然保護連合)レッドリスト(CR, EN, VU)又はワシントン条約附属書I、IIに該当する動物	繁殖のための研究実施件数	2件	10件	一般	—	—	—	—	—	7種(バーバリス、ブ、コモマンマ、セト、ショウジョウトキ、アカタマカテマリン、レオンサール、ガ、ジャガー、フンボルトペンギン)	9種(バーバリス、ザル、ショウジョウトキ、アカタマカテマリン、クマ、カマ、モ、オ、ア、イ、アピシニア、ロブ)	4種(フンボルトペンギン、ショウジョウトキ、レオンサール、ダ、シニオザル)	動物園の使命である「種の保存」を実現するため、園の規模等を踏まえ、5種繁殖を設定した。	6種	S	S	S	S	S	S	繁殖実績数が目標値を上回った。	「種の保存」の実現のため、継続して大学等と緊密に共同研究事業を実施していくほか、他機関との情報及び技術の共有を図る。

① 所属名	事業概要(全体)					活動の状況(アウトプット)			投入コスト(インプット)				成果(アウトカム)							評価及び次年度以降に向けた課題・改善など					
	② 事業事業名	③ 期間	④ 事業の実施主体	⑤ 事業目的	⑥ 事業内容	⑦ 活動指標(アウトプット指標)			⑧ 事業費				⑨ 成果指標(アウトカム指標)							⑩ 評価	⑪ 評価理由	⑫ 今後の課題と課題解決に向けた取組内容			
						指標名	当該年度の目標値	実績値	合計	予算額(千円)	前年度からの繰越額(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	会計年度外職員(人)	指標名	当該年度の目標値	直近3か年の実績値						当該年度の目標値の算出根拠	実績値	達成度
															R3	R2	R1								
日本平動物園	186 大型動物導入推進事業	H30 -	市(直営・委託)	新たなアジアゾウ導入の可能性について調査を行う。	アジアゾウを導入するための情報収集及び原産国との協議等に関する調査を行う。	導入可能性調査	実施	実施	一般	5,237	—	3,337	1.0	0.0	①原産国選定調査 ②関係機関等への情報収集	①実施 ②実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	①実施 ②実施	現在は、交渉先となる原産国の決定と導入に向けた可能性を調査する段階のため、調査実施を目標値として設定した。	①実施 ②実施	①実施 ②実施	A	コロナ禍ではあったが、関係機関等への情報収集を行いつつ、原産国調査を行った。	今後も関係機関等への情報収集を行いつつ、原産国調査を継続して実施していく。